

日本工学院専門学校

〒144-8655 東京都大田区西蒲田5-23-22 TEL.03-3732-1111(代表) URL http://www.neec.ac.jp/ mobile http://neec.mobi/



放送·映画科 声優·俳優科

クリエイティブラボ(4年制) (マンボ・アニメーションコース/ CGクリエイターコース/ ゲームクリエイターコース) マンボ・アニメーション科 ゲームクリエイター科 CGクリエイター科

デザインカレッジ

グラフィックデザイン科(3年制) Webデザイン科(3年制) インテリアデザイン科(3年制) プロダクトデザイン科(3年制)

ミューミックオレッミ

ミュージックアーティスト科 (ブレイヤー/ヴォーカリスト/ ミュージッククリエイターコース) コンサート・イベント科 レコーディングクリエイター科 ダンスパフォーマンス科

コレッチ

ITスペシャリスト科(4年制) 情報処理科 パソコン・ネットワーク科 情報ビジネス科

テクノロジーカレッジ

電子・電気科 環境・バイオ科 (環境・バイオ/ 化粧品・バイオコース) 建築学科(4年制) 建築設計科 CAD設計製図科

医療力レッジ

診療情報管理士科(3年制) 医療秘書·事務科 臨床工学専攻科一年制



日本工学院八王子専門学校

〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404-1 TEL.042-637-3111(代表) URL http://www.neec.ac.jp/ mobile http://neec.mobi/

クリエイターズカレッジ

放送・映画科 声優・俳優科 クリエイティブラボ(4年制)

クリエイティノフハ(4年末 (マンボ・アニメーションコース/ CGクリエイターコース/ ゲームクリエイターコース) マンガ・アニメーション科 ゲームクリエイター科 CGクリエイター科

デ<mark>ザイ</mark>ンカレッジ

グラフィックデザイン科(3年制) Webデザイン科(3年制) インテリアデザイン科(3年制) プロダクトデザイン科(3年制)

ミュージックカレッジ

ミュージックアーティスト科 (プレイヤー/ヴォーカリスト/ ミュージッククリェイターコース) コンサート・イベント科 レコーディングクリエイター科

Tカレッジ

ITスペシャリスト科(4年制) 情報処理科 パソコン・ネットワーク科 情報ビジネス科

テクノロジーカレッジ

ロボット・機械科電子電気料 電子電気料 日動車整備科 (4年制) 自動車整備科 応用生物学科 建築学科(4年制) 建築学科(4年制) 建築設計科 土木・造園科 CAD設計製図科テクノロジー研究科

医療力レッジ

鍼灸科(3年制) 柔道整復科(3年制) 診療情報管理士科(3年制) 医療秘書·事務科

スポーツカレッジ

スポーツトレーナー 科三年制 スポーツトレーナー 科 スポーツ 健康学科三年制 スポーツ 健康学科 (サッカー/テニスコース) こども学科 (幼稚園教諭・保育士コース)



クリエイティブ系 ゲームクリエイター科 アニメ・CG・Web科

IT系 情報処理科 情報システムコース 情報ビジネスコース 自動車整備科 テクノロジー科 電気工学コース 情報ネットワークコース 建築学科 インテリアデザインコース テクニカルコース 公務員系 公務員学科

公務員事務コース
警察官・消防士コース
医療系

しん灸科 柔道整復科 医療秘書科

> 日本工学院北海道専門学校

〒059-8601 北海道登別市札内町184-3 TEL.0143-88-0888(代表) URL http://www.nkhs.ac.jp/ mobile http://nkhs.mobi/



●蒲田キャンパス ●八王子キャンパス

デザイン学部 視覚と伝達コース 映像と構成コース 空間と演出コース 医療保健学部

医療保健子部 看護学科 臨床工学科 理学療法学科 作業療法学科

●八土子ギャンハス

メディア学部 コンテンツ創作コース インタラクティブメディアコース ソーシャルメディアサービスコース メディアビジネスコース 広田生物学部

応用生物学部 バイオテクノロジーコース 環境生物コース 先端食品コース 先端化粧品コース コンピュータサイエンス学部ソフトウェアコース

ソフトウェアコース システムエンジニアリングコース 、ネットワークコース エンターテイメントコンピューティングコース メかいロニクスコース 生活環境デザインコース サービス・ビジネスコース 大学院、バイオ・情報メディア研究科

第4 先端(性品コース パイランス再攻 コンピュータサイエンス再攻 コンピュータサイエンス再攻 メディアサイエンス高攻 アントレブルナー高攻

○蒲田キャンパス

〒144-8535 東京都大田区西蒲田5-23-22 TEL.03-6424-2111(代表)

○八王子キャンパス

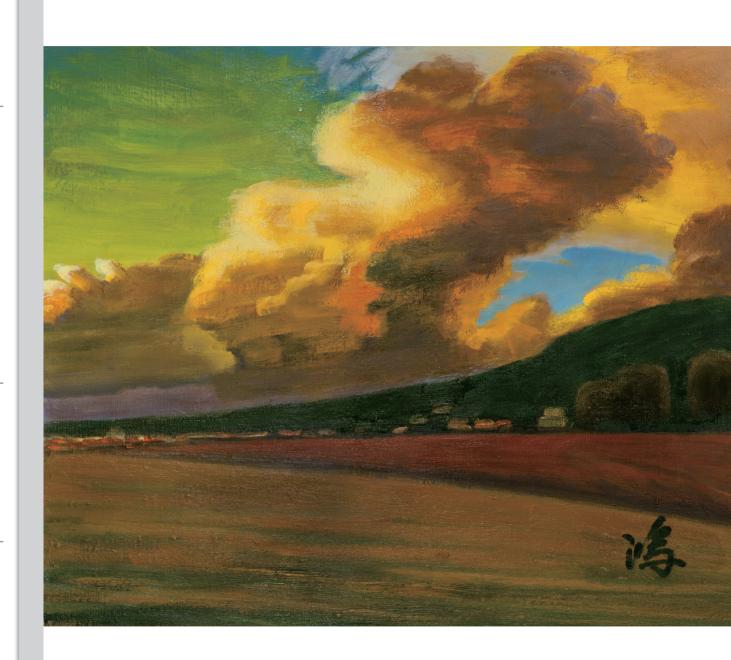
〒192-0982 東京都八王子市片倉町1404-1 TEL.042-637-2111(代表)
URL http://www.teu.ac.jp/ mobile http://kam.teu.ac.jp/

学校法人 片柳学園

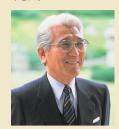
日本工学院専門学校 校友会誌



No.48



表紙のことば



創立者·学園長·理事長校友会名誉顧問 **片柳鴻**



「山中湖の夕景」

ある8月のこと、鴻林閣に宿泊していた休日の午後3時頃、雷を伴う激しい夕立がありました。5時頃には雨も上がり、暗い空も次第に明るくなり、間もなく晴れて美しい夕日が見られることを期待しつつ、待つことにしました。

その間、雑誌を読んで時間を過ごし、しばらくして西の空を眺めると、素晴らしい夕日が視界を覆いました。富士山をバックに湖水を前景にして描こうと、湖に向かって走ること5分、富士山を眺めるのに最適な場所である桟橋に辿り着くと、あいにくクローズしていました。仕方なく他の場所を探すこと10分、夕日は刻々と変化し、苛立ちは募るばかり。そして、さらに探すこと10分、陽も落ち始めてきたので、この場所に妥協し早速カメラに収めました。

帰り道、振り向いて東の空を眺めると太陽の光が雷雲に輝き、見事な夕景は言葉にならぬほど美しく、またとないチャンスと早速シャッターを数回押しました。後日、アトリエにて写真を元に描きましたが、その時の雰囲気を表現するのに苦労しました。まだまだ力不足を痛感した体験です。

春夏秋冬、自然現象による美しい景色は人の目を楽しませてくれます。また、その美しさを求め多くの芸術家達は挑戦し、傑作を生み出しております。

Contents

日本工学院ニュース

写真でみる校舎の変遷	33
平成23年度卒業証書授与式	34
平成24年度入学式	34
第46回かまた祭	35
第43回体育祭	35
平成24年度 かまた祭のお知らせ	36
校友会首都圏支部「講演会・懇親会」のお知らせ	37
キャリアサポートセンターからの報告	38
平成24年 教職員の退職者報告	39
蒲田校 学科の変遷	40
校友・交遊 集まってます!	44
入学金免除制度	46
日本工学院「卒業展2013」開催のお知らせ	47
かまた題字作家紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	48
個人情報保護についての取組み	48
会員近況メッセージ お元気ですか?	49
東日本大震災復興支援報告	57
学校法人片柳学園 各学校紹介	表4

Message



「この1年、会員皆様へ感謝」

校友会会長 **桂田 忠明** 放送技術部・36年卒業 セントラル電子制御株式会社・代表取締役

日本工学院専門学校は、昭和22年5月、大田区蒲田の地に「創美学園」として発足、以来65年の歴史を刻んで参りました。今では、蒲田のほか八王子、北海道校が増え、発足の地蒲田には20階建ての新校舎も聳え、最新の施設・設備を揃えた、専門学校としては類を見ない規模と内容の学園となっております。そして本校の卒業生は、多方面な分野で、その中心となってご活躍されています。

日本工学院専門学校校友会は、昭和42年4月、「日本電子工学院研友会」から始まり今年で45年を経過、その会員数は14万人に達しようとしています。支部活動は、昭和63年10月、鹿児島県支部の設置からスタートし、今や国内40支部、海外2支部が設けられ、各支部では、会員相互の親睦・研鑽を図るとともに、本校の発展に協力すべく、「会員の集い」開催のほか、年間を通して活発な活動を行なっております。

さて、この1年間、当校友会は、昨年3月の東日本大震災で被災された校友会会員の方々に、どのような形でお力添えをすべきかを考え、実行してきた年であったと思います。震災発生直後から、岩手県・宮城県・福島県の各支部長には、ご自身も何らかの被災を蒙りながらも、地区会員の皆様の安否確認、校友会事務局との連絡等に、多大なご尽力とご貢献を頂きました。そうしたご努力に対し、深く感謝の念を申し上げます。さらに、全国の会員の皆様からも、心温まる浄財等を頂き、被災地の方々にお見舞金等をお贈りすることが出来ました。会員の皆様からの励ましのお気持ちが、被災地の皆様にお伝え出来たのではないかと思っております。

また、本校との協力による『被災地に漁船を贈ろう!募金』には、会員の皆様のご賛同・ご協力を頂き、日本工学院専門学校、日本工学院八王子専門学校、東京工科大学と当校友会の名で、岩手県宮古市宮古、重茂、田老、宮城県石巻市の大須、船越の各漁業協同組合へ漁船を贈る事が出来ました。漁業関係者から大きな喜びと感謝のお言葉を頂戴し、その様子が地元メディアで報道され、会員の皆様から「母校を誇らしく思った」との声が多く寄せられております。被災された方々のみならず、広く会員の皆様にも喜んで頂き、良い活動が出来たと思います。更に、被災地区の校友会役員の皆様には、被災地支援の一助とした「被災地激励会」開催にもご尽力頂き、多くの会員の参加に繋げて頂けたことを嬉しく思い、御礼申し上げます。校友会は今後もこうした地道な活動を続け、会員の「絆」をより一層深めながら、本校の発展に寄与して参りたいと思います。被災地の一日も早い復興を祈念するとともに、この1年間の会員の皆様の絶大なご協力に心から感謝いたします。

Message·校友会会長 桂田 忠明

Message



校友会誌 「かまたNo.48 | にむけて

学校長千葉 茂

校友会会員の皆様、こんにちは。

今年、学校法人片柳学園・日本工学院専門学校は創立65年目を迎えました。新校舎に伴って造った庭園や周囲の木々もしっかり根付き、学生はもとより近隣の皆様の憩いの場となっております。

校友会の皆様には昨年に引き続きまして、学園が行っております被災地の復興支援「漁船を贈るプロジェクト」に甚大なるご協力を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。今年度は宮城県の雄勝地区にある船越漁港へ2隻、大須漁港へ2隻寄贈することが出来ました。そのうち、船越漁港に贈りました第10あすなろ丸には「日本工学院専門学校校友会 寄贈」と記されておりますので、現地を訪れる機会がございましたら、あすなろ丸の勇姿をご覧頂けましたら幸いです。

さて、我々、教育機関を取り巻く環境も大変厳しさを増し、学生募集や就職活動等、今まで通りとはいかなく成って参りました。しかしながら、卒業生の皆様の残してくれた良き伝統が、現在の学生達を心強く後押し頂いております。特に就職の面においては、過去、本校の学生をご採用下さった企業様から是非後輩を採用したいというお申し出を多く頂いております。これも偏に皆様の職場におけるご活躍の賜物であると、この場を借りて感謝申し上げると共に、卒業生が入社しました際にはご指導・ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

就勝宣言も二年目に入り、学生の社会人になるべく意識も年々高まりつつあります。そんな中、基本中の基本である「挨拶運動」に今年は特に力を入れ、キャンパスを訪れた方々からは、気持ちの良い挨拶を受けたとお褒めの言葉を多数頂戴しております。就職氷河期にあっても、企業で評価される人材育成を通して、就職率の向上に挑む学校の挑戦にご期待下さい。

最後になりますが、皆様の益々のご健勝とご活躍を心より祈念申し上げます。

校友会 だより

第23回

通常総会 報 告

第23回校友会通常総会は本校講師で会員でもある相沢早苗さんの総合司会で始まりました。今年は議長に清田 茂信副会長、副議長に植木 敏郎副会長を選出し、5つの議案が審議され、承認されました。特に今後の校友会活動の活性化については活発な議論が交わされました。次回の第24回通常総会を平成25年6月8日(土)と決めました。

通常総会に先立ち、理事長、学校長を交えての集合写真の撮影のあとに6号館に増設された最新音響機器を備えたレコーディングスタジオを見学しました。

総会終了後は3号館12階の学生ラウンジにおいて懇親会が行われました。その席上、 震災復興支援で学園が行っている被災漁 港への漁船寄贈のうち、学校長、会長、宮城 県支部長らが参加した宮城県石巻市で行われた漁船贈呈式の様子を撮影した映像が流され、参加者から盛んな拍手が起こりました。 日 時 平成24年6月9日(土)15:30~17:00

於 日本工学院専門学校 31005教室(3号館10階)

出 席 42支部(支部長·副支部長)

挨 拶 桂田 忠明 会長

総会次第

- 1. 開 会
- 2. 会長挨拶
- 3. 名誉顧問挨拶
- 4. 学校長挨拶
- 5. 議長、副議長および議事録署名人(2名)の 選出
- 6. 議事審議

第1号議案 平成23年度事業報告

第2号議案 平成23年度収支決算報告および

監査報告

第3号議案 平成24年度事業計画

第4号議案 平成24年度収支予算

第5号議案 その他

7. 議長、副議長の解任

8. 閉 会









Message·学校長 千葉 茂

●平成23年度収支決算報告 (平成23年4月1日~平成24年3月31日)

収 入	の部	支 出	の部
科 目	金額(円)	科 目	金額(円)
前期繰越	69,370,675	会誌「かまた」など制作費	10,830,815
校友会会費	32,400,000	総会諸費用	1,609,030
会誌「かまた」広告	520,000	地区支部長会議諸経費	2,492,139
受取利息	1,189	支部事業費	5,601,467
		校友会ウェブサイト経費	1,630,545
		事務管理費	228,351
		人 件 費	1,306,500
収入の部計	102,291,864	支出の部計	27,448,942
		次年度繰越	74,842,922

●平成24年度予算書

収入	の部	支 出	の部
科 目	金額(円)	科 目	金額(円)
前期繰越	74,842,922	会誌「かまた」など制作費	11,800,000
校友会会費	31,000,000	総会諸費用	2,000,000
会誌「かまた」広告	600,000	地区支部長会議諸経費	2,700,000
受取利息	1,000	支部事業費	6,000,000
		校友会ウェブサイト経費	2,500,000
		事務管理費	950,000
		人 件 費	4,900,000
		予 備 費	5,000,000
収入の部計	106,443,922	支出の部計	35,850,000
		次年度繰越	70,593,922

校友会通常総会の詳細

- 1. 開 会 宣 言 奥川宏副会長
- 2. 会 長 挨 拶 桂田 忠明 会長
- 3. 名誉顧問挨拶 片柳 鴻 名誉顧問
- 4. 学校長挨拶 千葉茂学校長
- 5. 議長、副議長、書記および議事録署名人の選出 [議 長] 清田 茂信 副会長(熊本県支部長)

[副 議 長] 植木 敏郎 副会長(新潟県支部長)

[議事録署名人] 藤原 義広(島根県支部長) 平井 康美(北海道支部長)

書記事務局

6. 議案審議

- 【第 1 号議案】平成 23 年度事業報告
- ①校友会誌および校友会のしおり発行
- ②通常総会・会員の集い開催
- ③ Web サイトの運営と企画
- 【第2号議案】平成23年度収支決算報告および監査報告
- ①収支決算報告
- ②監査報告
- 【第3号議案】平成24年度事業計画(案)
- ①校友会誌および校友会のしおり発行
- ②通常総会・会員の集い開催
- ③ Web サイトの運営と企画
- 4)質疑応答
- 【第4号議案】平成24年度収支予算事業計画(案) 平成24年度収支予算について説明
- 【第5号議案】その他
- ①団体傷害保険について
- ②校友会活動について
- ③次回通常総会の日程について
- ④質疑応答
- 7. 議長、副議長の解任

清田 茂信 副会長(熊本県支部長)植木 敏郎 副会長(新潟県支部長)

8. 閉会

野里 和弘 副会長 (青森県支部長)









校友会通常総会等の様子

平成24年6月9日(土)に日本工学院専門学校において、全国42支部から校友会会員 13万8千人を代表する支部長が母校に来校され、第23回通常総会が開催されました。

❖ 見学会 15:00~15:30

平成24年3月に6号館の増設工事が終わり、最新のデジタル音響機器を備えたレコーディングスタジオが完成しました。この施設を利用して学べる学生たちへの羨望の声が上がりました。





❖ 通常総会 15:45~17:00

新棟10階第5階段教室において、通常総会が行なわれました。司会は相沢早苗さんが行ないました。奥川宏副会長の開会宣言に続いて桂田会長の挨拶があり、その後、議長、副議長を選出し、議事の討議が行なわれました。









❖ 記念写真撮影 14:50~15:00

新棟1階のエントランス ホールで片柳理事長と千 葉学校長を囲み記念写真 を撮りました。



❖ 懇親会 17:15~19:00

12階の学生ラウン ジにおいて懇親会 が行われました。





校友会だより/第22回 通常総会報告

「校友会ラウンジ」利用規定

1 利用資格

- ① 日本工学院専門学校校友会会員および準会員。 ただし、準会員のみでの使用は出来ません。準会員が利用を希望する場合は、教職員が責任者となり、一切の管理責任を負っていただきます。
- ② 校友会会員が代表者または責任者である団体・グループ。
- ③ 学校法人片柳学園の教職員。
- ④ 日本工学院専門学校校友会会長が認めた者および団体・グループ。

2 利用目的

会議、待ち合わせ、親睦会など様々な目的で使用できますが、目的によっては、校友会事務局の判断でお断りする場合があります。

ただし、利益を得ることを目的とした事業ならびに政治活動・宗教活動を伴う集会には利用できません。

3 校友会ラウンジ概要

○面積:約116㎡ ○定員:40名

利用可能な設備:OHP、プロジェクター(パソコン・DVD接続可)、スクリーン、ホワイトボード、DVD、冷蔵庫、電気ポット、急須、湯飲茶碗、コップ。

設備の利用については、無料です。

4 利用時間

平日 10:00~17:00

学校が休みの時には、利用できません。

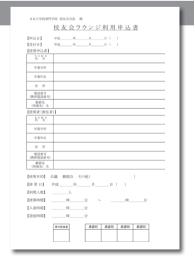
利用する場合は2週間前までに校友会事務局に届け、校友会事務局の承認を得なければなりません。また、校友会行事のある場合はこれを優先といたします。

上記時間以外の利用に関しては、校友会事務局にご相談願います。

5 申し込み方法

所定の申込用紙に必要事項を記入の上、校友会事務局に E-mail、FAX、郵便等でご提出願います。先着順で申し込 みを受け付けます。ただし、校友会行事等を優先とさせて いただくため、使用をお断りする場合がありますので、予め ご了承願います。

●申込用紙は校友会事務局 ☎03-3732-8183 にご請求いただくか ホームページをご覧ください。 http://www.kouvukai.net/



「校友会について」より校友会ラウンジ利用規定 及び使用申込(PDF)をダウンロードしてください。 校友会 だより

平成23年度

支部会員の集い

平成23年度支部会員の集い(総会・懇親会)は、全国で約300人が集い、さまざまな趣向で開催されました。自己紹介、近況報告、役員の改選、懇親会での情報交換など、各支部とも有意義で実りある会合内容が報告されています。旧友との久々の再会となる懇親会では懐かしい思い出話にも花が咲き、和やかで充実した歓談のひとときがもたれました。今後も世代をこえた地元校友とのネットワークづくりに、皆様の積極的なご参加をお願い申し上げます。

北海道支部

■設 立:昭和63年6月24日

■登録会員:1035名

■支部長:平井 康美

□E-mail koyukai@neec.ac.jp

第12回 北海道支部会員の集い

開催日:平成23年9月23日(金) 出席者:12名

会 場:旭川市「高砂温泉」「旭山動物園」



●旭山動物園見学会 10:00~14:00

●支部総会 15:00~17:30

- 1.開会挨拶/平井支部長(司会·進行)
- ◇北海道支部20周年記念事業「記念植樹祭」報告など
- 2.校友会事務局挨拶/濱水 一彦、村林 大
- ◇自己紹介と現在までの職歴など
- 3.東日本大震災に対しての黙祷
- 4.自己紹介
- 5.DVD鑑賞
 - ◇20周年記念事業「記念植樹祭」
- ◇「完成 未来空間 蒲田キャンパス」校
- 6.校友会事務局からの報告
- ◇学校の現状について(リーフレット配付)など
- 7.役員改選
- 8.その他

◇会費残金の取扱いについて(黒瀬会計担当)

●懇親会 18:00~20:30

出席者:平井 康美(S.57卒)/中里 榮(S.38卒)/三井 隆儀(S.41 卒)/森本 俊明(S.46卒)/日下部 明(S.46卒)/橋本 篤(S.55卒)/黒瀬 美奈江(S.56卒)/曽我部 朱美(S.58卒)/高崎 重幸(H.01 卒)/四日市 秀(H.20卒)

[事務局]濱水 一彦、村林 大

青森県支部

■設 立:昭和63年9月14日

■登録会員:724名

□E-mail koyukai@neec.ac.jp

第12回 青森県支部会員の集い

開催日:平成23年11月19日(土) 出席者:8名

会場:青森市「ラ・プラス青い森」



●支部総会 17:00~19:30

1.支部長挨拶

◇3.11犠牲者に対する黙祷 ◇開催謝辞

2.学校代表挨拶/猪口

◇3.11東日本大震災の件など

3.議事

支部活動報告(野里支部長) 4.今後の支部活動についての意見

●懇親会 00:00~00:00





出席者: 野里 和弘(S.31卒)/宮越 英樹(S.36卒)/小笠原 實(S.37卒)/木村 輝雄(S.39卒)/鈴木 隆(S.43卒)/佐藤 晃(S.51卒)/斉藤 敏也(S.54卒)

[事務局]猪口 眞美

校友会ラウンジ」利用規定が決まりました

宮城県支部

■設 立:昭和63年5月20日

■支部長:清水 幸男

■登録会員:546名

E-mail kovukai@neec.ac.ip

第12回 宮城県支部会員の集い

開催日:平成23年11月19日(土) 出席者:12名 会 場:宮城県仙台市「うまい鮨勘 東口店」



出席者:清水 幸男(S.54卒)/橘内 英二(S.35卒) /三浦 勝平(S.36卒)/東 光彦(S.37卒)/増田 -男(S.43卒)/工藤 浩(S.52卒)/米本 正広(S.56 卒)/前田 真一(S.57卒)/佐藤 俊文(S.60卒) [事務局]濱水 一彦

●支部総会 18:00~18:30

- 1.開会挨拶/司会·進行:清水 幸男
- ◇北海道支部20周年記念事業「記念植樹祭」報告など
- 2.支部長挨拶/清水支部長
- ◇出席者への謝辞
- ◇今回の仙台開催の主旨
- ◇支部活動の状況
- 3.校友会事務局報告/校友会事務局 濱水 一彦
- ◇宮城県会員の皆様へ、メッセージと自己紹介
- ◇出席者名簿の内容確認と訂正
- ◇リーフレット配布による学校の現状報告
- ◇校友会ホームページの紹介
- ◇宮城県出身学生の在籍状況
- 4.支部会則の変更および役員改選

●懇親会 18:30~21:00





秋田県支部

■設 立:昭和63年9月12日

■支部長: 高橋 由紀夫

■登録会員:784名

E-mail koyukai@neec.ac.jp

第12回 秋田県支部会員の集い

開催日:平成23年10月1日(土) 出席者:9名

会 場:秋田市「協働大町ビル」



出席者: 高橋 伸(S.42卒)/豊 原 渉(S.35卒)/小玉 力(S.54 卒)/高橋 由紀夫(S.55卒)/ 山内 勝弥(S.63卒)/江畑 隆一 (H.06卒)/菅原 広徳(H.08卒) [事務局]濱水 一彦、村林 大



●支部総会 15:00~17:30

- 1.開会挨拶
- ◇出席者への謝辞
- ◇秋田テレビ局見学中止の経緯 ◇東日本大震災の掲示板の紹介
- 2.学校代表挨拶/濱水事務局
- ◇自己紹介と現在までの職歴など
- 3.議事(議長:豊原 渉) ①支部活動報告(高橋支部長)
- ②校友会事務局報告(村林事務局)
- ③会則改正(顧問の追加)
- ④役員改選
- ⑤その他(支部活動についてのご意見など)

●懇親会 18:40~20:30







山形県支部

■設 立:昭和63年7月25日

■支部長:鈴木 幸雄

■登録会員:631名

E-mail kovukai@neec.ac.ip

第12回 山形県支部会員の集い

開催日:平成23年9月23日(金) 出席者:12名

会 場:旭川市「高砂温泉」「旭山動物園」



出席者:鈴木 幸雄(S.39卒)/樋口 祐七(S.42卒)/ 鈴木 正豊(S.46卒)/沼澤 重成(S.52卒)/沼澤 与 和(S.52卒)/大沼 智尋(S.52卒)/千葉 秀行(S.54 卒)/菅野 寬(S.55卒)/庄司 一豊(S.60卒) [事務局]濱水 一彦、村林 大

●支部総会 18:00~19:00

- 1.開会挨拶/司会·進行:樋口 祐七 ◇出席者への謝辞
- ◇事務局の紹介
- ◇前回の支部会員の集いの報告
- ◇第22回通常総会の報告
- ◇東日本大震災関連の報告
- 2.学校代表挨拶/濱水一彦、村林大
- ◇自己紹介と現在までの職歴など
- ◇自己紹介と配付資料の説明など
- ◇氏名および卒業年度と学科、近況報告と将来の展望など
- 4.支部活動報告(配付資料)
- 5.役員改選
- ●懇親会 19:00~21:00





茨城県支部

■設 立:平成1年11月22日

■支部長: 廣瀬 憲治

■登録会員:2901名

E-mail koyukai@neec.ac.jp

第12回 茨城県支部会員の集い

開催日:平成23年11月19日(土) 出席者:25名

会 場:水戸市「わさびの花」



●支部総会 17:00~18:00

- 1.開会挨拶/廣瀬支部長
- ◇出席者への謝辞
- ◇今回の会場設定に至る経緯
- ◇東日本大震災の県内被災状況
- ◇自己紹介を兼ねた出席調査2.学校代表挨拶/猪口

2.事務局報告

◇自己紹介と配付資料の説明など 3.役員改選

4.校友会全国支部ブログ



出席者:廣瀬 憲治(S.47卒)/田口 俊夫(S.35卒)/塩畑 文夫(S.37卒)/村地 明久(S.39卒)/市川 希一(S.39卒)/大和田 惟雄 (S.39卒)/島田 俊男(S.44卒)/井上 貴雄(S.46卒)/鈴木 宏信(S.48卒)/山崎 操(S.51卒)/金澤 肇(S.52卒)/伊藤 秀史(S.54 卒)/海老沢 照男(S.54卒)/根本 雅一(S.55卒)/松井 章(S.56卒)/矢口 一美(S.57卒)/染谷 実(S.58卒)/上島 泰浩(S.58卒)/ 熱田 芳一(S.59卒)/鈴木 良一(S.61卒)/遠井 治男(H.01卒)/竹中 直人(H.01卒)/須之内 紀夫(H.03卒)/舟橋 聖治(H.03卒) [事務局]村林 大



校友会だより/支部会員の集い

首都圏支部

■設 立:昭和63年6月3日

■支部長: 桂田 忠明

■登録会員:48148名

☐E-mail koyukai@neec.ac.jp

首都圏支部会員の集い

開催日: 平成23年10月29日(土) 会 場:「日本工学院専門学校」





■支部長:植木 敏郎





●見学会 12:00~

●支部総会 3号館10階 31005教室 15:00~

●「祈りの歌声 ミニコンサート」 15:30~

◇手話コーラス(相沢早苗さんと在校生・卒業生)

●講演会 16:00~17:15

◇「やさしい放射線のはなし」大石 清彦先生(医療カレッジ長)

◇「放射線調査の実態」竹生田 昭男(本校卒業生)

●懇親会 17:30~19:00

司会は相沢 早苗さんで卒業生、学校長、学校職員ら約150名が参 加して盛大に行われました。





新潟県支部

■設 立: 平成1年10月6日

■登録会員:2476名

E-mail koyukai@neec.ac.jp

第12回 新潟県支部会員の集い

開催日:平成23年10月9日(日) 出席者:12名

会 場:燕市「燕三条ワシントンホテル」



出席者: 阿部 正夫(S.48卒)/柳 健一(S.53卒)/植木 敏郎 (S.50卒)/小川 精一(S.51卒)/田中 節子(S.52卒)/渡邉 貞信(S.53卒)/小林 章二(S.57卒)/野崎 善徳(S.57卒)/長 谷川 和智(S.60卒)/鹿島 一彦(S.62卒)/品田 史夫(H.06卒) [事務局]猪口 眞美

●支部総会

1.支部長挨拶

◇開催謝辞など

2.学校代表挨拶/猪口

- ◇3.11東日本大震災の件など
- ◇理事長の誕生日、学園創立64年
- ◇H22年度新校舎完成について
- ◇H22年度法人本部移転(八王子→蒲田)

◇H22年度大学新設(医療保健学部·デザイン学部) 3 議事

- ◇支部活動報告(植木支部長) 会則·役員改選/役員改正
- ◇校友会事務局報告(猪口)
- 3.11被災学生への見舞金など 4.今後の支部活動についての意見

●懇親会



富山県支部

■設 立:平成5年5月22日

■支部長:石黒 明

■登録会員:520名

☐E-mail koyukai@neec.ac.jp

第10回 富山県支部会員の集い

開催日:平成23年10月29日(土) 出席者:4名

会 場:東京都「日本工学院専門学校 校友会ラウンジ」



出席者: 石黒 明(S.54 卒) / 八木 孝信(S.38卒) /村尾 和行(S.44卒)/ 中田 栄一(S.48卒)



●支部総会 15:00~15:30

1.開会挨拶/石黒支部長 ◇出席者への謝辞

◇支部活動報告

2.議長選出/石黒支部長

3.総会(議事)

◇支部総会を蒲田校で実施することの趣旨報告

◇役員改選

●講演会 16:00~17:15

◇「やさしい放射線のはなし」大石 清彦先生(医療カレッジ長)

◇「放射線調査の実態」竹生田 昭男(本校卒業生)

●懇親会 17:30~20:00

首都圏の懇親会(約150名の出席者)に合流し、美味しい料理に囲 まれて、恩師や当時の学校生活の話題などで有意義な時間を過ごし



石川県支部

■設 立:平成5年5月21日

■支部長:山岸 誠次

■登録会員:343名

E-mail koyukai@neec.ac.jp

第10回 石川県支部会員の集い

開催日:平成23年10月15日(土) 出席者:7名



◇出席者への謝辞

場: 小松市「石川県立 航空プラザ 会議室 」

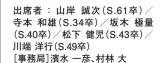
- ●支部総会 14:00~15:30 1.開会挨拶/山岸支部長
- 2.山岸支部長解説(DVD観賞)
- ◇蒲田校基礎知識 ◇蒲田キャンパス
- ◇学校長からのメッセージ
- 就勝宣言(VICTORY PROJECY)
- ◇テクニカルカッレジ
- ◇クリエイターズカレッジ
- ◇ITカレッジ
- 3.学校代表挨拶
- ◇自己紹介と現在までの職歴など 4.事務局報告
- ◇学校の現状についてなど



山岸支部長による雑学講座(プロジェクター使用、資料配付)







校友会だより/支部会員の集い 校友会だより/支部会員の集い

長野県支部

■設 立:昭和63年11月19日

■支部長: 峯村 理雄

■登録会員:3166名

☐E-mail koyukai@neec.ac.jp

第12回 長野県支部会員の集い

開催日:平成23年10月22日(土) 出席者:13名 会 場:長野県松本市「翠香園(すいこうえん) 松本店」



出席者: 峯村 理雄(S.44卒)/相場 理雄(S.41卒)/杉田 親 (S.44卒)/土屋 晴夫(S.47卒)/田中 文明(S.52卒)/曽根原 清文(S.52卒)/黒岩 義久(S.53卒)/矢島 善紀(S.53卒)/江口 明美(S.54卒)/外山 康弘(S.60卒)/山田 將仁(S.62卒) [講師]相沢 早苗 [事務局]濱水 一彦

●支部総会 15:00~16:00

- 1.開会挨拶/峯村支部長
- ◇支部長挨拶 ◇出席者への謝辞
- ◇松本開催の経緯 ◇役員·副支部長の紹介
- 2.校友会事務局挨拶·報告/事務局濱水
- ◇自己紹介と現在までの職歴など 3.長野県支部活動報告/峯村支部長
- ◇支部長会議等の報告
- 4.参加会員の自己紹介
- ◇席次順に近況報告など
- 5.役員改選について
- 6.会計報告/峯村支部長 ◇通帳残高に変更ない旨が報告
- 7.次回開催予定地について
- ◇次回開催地は、東信方面や南信方面も含めて検討する
- ●ハーモニカ演奏会 16:00~16:30
- ●相沢早苗先生 講演会 16:30~17:30
- ●懇親会 17:30~19:30



岐阜県支部

■設 立:平成5年5月19日

■登録会員:175名

■支部長:番場 日出喜

□E-mail koyukai@neec.ac.jp

第9回 岐阜県支部会員の集い

開催日:平成23年11月13日(日) 出席者:6名

会場:高山市「飛騨高山 京や」



出席者:番場 日出喜(S.44卒)/清水 佐幸(S.44卒)/滝 昌司(H.02卒)/ 柴田 達夫(H.02卒)

[富山県支部]石黒 明 [事務局]濱水 一彦



●支部総会 16:30~17:30

- 1.開会挨拶/司会·進行:番場 日出喜
- 2.支部長挨拶/番場支部長
- ◇出席者への謝辞 ◇高山開催の経緯
- ◇支部活動の状況3.議事
- 3.出席者の自己紹介
- 4.校友会事務局報告/校友会事務局:濱水一彦
 - ◇自己紹介と現在までの職歴など
 - ◇配布資料の確認・説明
- ◇リーフレットによる学校の現状報告
- ◇校友会ホームページの紹介
- ◇かまた誌内容の紹介
- ◇会員の集いの案内、出欠席状況
- ◇岐阜県出身学生の在籍状況
- 5.支部会則の変更および役員改選
- 6.その他

●懇親会 17:30~20:00



静岡県支部

■設 立:昭和63年9月29日

■支部長:奥川 宏

■登録会員:3381名

☐E-mail koyukai@neec.ac.jp

第12回 静岡県支部会員の集い

開催日:平成23年11月6日(日) 出席者:9名

会 場:静岡市「ホテルシティオ 静岡」



出席者: 奥川 宏(S.47卒)/宮崎 利久(S.34卒)/伊東 文男 (S.48卒)/橋本 健治(S.48卒)/坂下 勲(S.51卒)/落合 知 司(S.51卒)/近藤 隆行(S.53卒)/土屋 和明(S.58卒) [事務局]村林 大

●支部総会 17:00~17:30

- 1.開会挨拶/奥川支部長
- ◇出席者への謝辞 ◇支部活動報告
- 2.事務局報告
- ◇自己紹介と配付資料の説明など







市内各場所で開催さ れていた「大道芸大 会」の一部を取材し た。大勢の観客で埋ま り、驚きの声や笑い 声、感動の大きな拍手 が沸いた。



■設 立:平成5年5月14日

■支部長:平井 正博

■登録会員: 156名

□E-mail koyukai@neec.ac.jp

第9回 三重県支部会員の集い

開催日:平成23年11月5日(土) 出席者:6名 会 場:四日市市「たまゆら 近鉄四日市店」

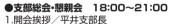


- ◇2年間の支部活動報告
- 4.自己紹介



出席者: 平井 正博(S.48卒)/矢口 克典(S.57卒) [事務局]村林 大





◇出席者への謝辞

2.事務局報告 ◇自己紹介と配付資料の説明など

3.役員改選

5.懇親会





校友会だより/支部会員の集い 校友会だより/支部会員の集い

京滋支部

■設 立:平成5年5月29日

■支部長: 菅原 進

■登録会員:181名

E-mail kovukai@neec.ac.ip

近畿支部

■設 立:平成2年6月4日

■登録会員:373名 ■支部長:中澤 広

□E-mail koyukai@neec.ac.jp

第10回 京滋・近畿支部会員の集い

開催日:平成23年10月22日(土) 出席者:14名

会場:大阪市「バンダリア



出席者:●京滋支部 菅原 進(S.53卒)/内田 幸治(S.52卒) / 倉持 信二(S.53卒) ●近畿支部 中澤 広(S.55) / 南本 敬二 (S.32卒)/當眞 嗣正(S.39卒)/嶋田 洋(S.41卒)/高橋 政 夫(S.41卒)/斉藤 良彦(S.49卒)/今西 康裕(S.52卒)/木 村 宏(S.53卒)/東 恒八(S.53卒)/仲 均(S.53卒)/内田 隆文 (S.56卒)/山内 剛志(S.59卒)/駒井 誉頼(H.11卒) [事務局]村林 大

●支部総会 18:30~19:00

- 1.開会挨拶/中澤支部長
- ◇出席者への謝辞
- ◇2年間の支部活動報告(資料配付)
- 2.役員改選
- 3.事務局報告
- ●懇親会 19:00~22:00





岡山県支部

■設 立:昭和63年9月21日

■登録会員:296名

■支部長: 白石 脩 E-mail koyukai@neec.ac.jp

第12回 岡山県支部会員の集い

開催日:平成23年11月12日(土) 出席者:8名

会 場:岡山市「ホテルサン・ピーチ岡山」



●支部総会 14:30~15:40

- 1.開会挨拶/白石支部長
- ◇支部長挨拶 ◇出席者への謝辞
- ◇東日本大震災について
- ◇本日の講演会および講師の紹介
- 2.講師挨拶/平岡校友会副会長
- ◇挨拶及び自己紹介
- ◇近隣校友会支部の交流について
- 3.出席者の自己紹介
- 4.校友会事務局挨拶·報告
- ◇自己紹介と現在までの職歴など
- 5.岡山県支部活動報告/白石支部長
- ◇岡山県支部、2年間の動きを映像により詳細に報告
- 6.役員改選について
- 7.講演会 平岡校友会副会長

「地上デジタル放送完全移行その後」 15:50~16:45

8.記念撮影(ホテルサン・ピーチ岡山のロビーにて) 16:50~17:00

●懇親会 17:10~19:50





広島県支部

■設 立:昭和63年9月22日

■支部長:福岡 孝司

■登録会員:406名

E-mail kovukai@neec.ac.ip

第11回 広島県支部会員の集い

開催日:平成23年12月4日(日) 出席者:8名

会場:広島市「ANAクラウンプラザホテル広島」



出席者:福岡 孝司(S.59卒)/面出 治(S.53卒)/小迫 正俊 (S.53卒)/植田 和明(S.56卒)/竹野 博信(S.58卒)/堂前 克 文(S.58卒)

[講師]石黒明 [事務局]村林 大

●支部総会 12:00~13:30

- 1.開会挨拶/福岡支部長
- ◇出席者への謝辞 ◇2年間の支部活動状況報告
- 2.事務局報告
- ◇自己紹介と配付資料の説明など
- 3.自己紹介
- 4. 講演会
- ◇講師:石黒明(富山県支部長)株式会社京三製作所
 - ・自己紹介(今日までの職歴など)
- ◇講演テーマ「信号機のQ&A」(テキスト配付)
 - ・交通管制センターのしくみ
 - ・交通管制システムの効果
 - ·交通信号灯器「車両用と歩行者用」
 - ·質疑応答

5.役員改選

●懇親会 13:30~15:30



山口県支部

■設 立:平成3年9月14日

■支部長:平岡 征男

■登録会員: 192名

E-mail koyukai@neec.ac.jp

第11回 山口県支部会員の集い

開催日:平成23年12月3日(土) 出席者:9名

会場:山口市「土火土火(ドカドカ)」



出席者: 平岡 征男(S.41卒)/岸本 悦子(S.49 卒) / 早川 一夫(S.51卒) / 山下 学(S.54卒) / 浅井 雅博(S.55卒)/亀井 政一(S.56卒)

[講師]石黒明 [校友会]番場 日出喜 [事務局]村林 大

●講演会 18:00~19:00

- ◇講 師:石黒 明(富山県支部長)株式会社 京三製作所
 - ・自己紹介(今日までの職歴など)
- ◇講演テーマ「信号機のQ&A」(テキスト配付)
 - ・交通管制センターのしくみ
 - ・交通管制システムの効果
 - ·交通信号灯器「車両用と歩行者用」
 - ·質疑応答

●支部総会 19:00~20:00

- 1.開会挨拶(議事進行)/浅井副支部長
- ◇出席者への謝辞 ◇番場岐阜県支部長の紹介
- 2.岐阜県 番場支部長挨拶
- ◇自己紹介
- 3.山口県支部長挨拶/平岡支部長
- ◇石黒支部長と番場支部長の出席への謝辞
- ◇2年間の支部活動報告
- ◇平成23年度「近畿・中国・四国地区」支部長会議の日程
- ◇その他
- 4.事務局報告
- ◇自己紹介と配付資料の説明など

5.役員改選

●懇親会 20:00~23:00







校友会だより/支部会員の集い

校友会だより/支部会員の集い

大分県支部

■設 立:平成3年5月10日

■支部長: 森崎 俊彦

■登録会員:191名

☐E-mail koyukai@neec.ac.jp

第11回 大分県支部会員の集い

開催日:平成23年10月8日(土) 出席者:11名

会 場:大分市「福は家(ふくはうち)」



出席者: 森崎 俊彦(S.49卒)/麻生 和之(S.36卒)/工藤 信男 (S.49卒)/木本 哲生(S.50卒)/佐藤 浩(S.51卒)/田中 忍 (S.51卒)/栗林 和成(S.56卒)/武生 政也(S.63卒)/浅野 哲 史(S.63卒)/印山 尚史(H.06卒)

[事務局]村林 大

支部総会 18:00~18:30

- 1.開会挨拶/麻生支部長
- ◇出席者への謝辞
- ◇2年間の支部活動報告
- ◇自身の近況および体調報告
- 2.事務局報告
- ◇自己紹介と配付資料の説明など
- 3.役員改選



●懇親会 18:30~20:30



鹿児島県支部

■設 立:昭和63年3月5日

■支部長: 久山 順一

E-mail koyukai@neec.ac.jp

■登録会員:605名

第12回 鹿児島県支部会員の集い

開催日:平成23年11月26日(土) 出席者:11名

会 場:鹿児島市「ジェイド ガーデン パレス」



出席者: 久山 順一(S.40卒)/北原 健二(S.43卒)/尾之上 光政 (S.52卒)/重 久信(S.55卒)/江口 雄士(S.54卒)/井口 郁生 (S.58卒)/上園 久幸(S.60卒)/北山 文章(S.62卒)/吉村 信 次(H.08卒)

[講 師]森本 正夫、 [事務局]濱水 一彦

●講演会「南極観測と地球環境」 17:15~18:45

司会・進行:久山 支部長

講師:森本正夫 会員 (鹿児島地方気象台、地球温暖化情報官)

- ◇自己プロフィール ◇100年前の偉業
- ◇国際社会への復帰 (国際地球観測年参加)
- ◇南極の気候と日本の基地 ◇南極観測船
- ◇南極観測と地球環境 ◇隊員の生活 ◇南極の自然
- 1.支部長挨拶/司会·進行:上園 副支部長
- 2.支部長挨拶/久山 支部長
- ◇本日の講演会開催経緯および講師の紹介など
- 3.校友会事務局挨拶·報告/濱水一彦
- ◇鹿児島県出身学生の在籍状況など
- 4.役員改選について

●懇親会 19:15~21:00









■設 立:平成1年5月27日

■支部長:徳田 永伸

■登録会員:1074名

☐E-mail koyukai@neec.ac.jp

第12回 沖縄県支部会員の集い

開催日:平成23年11月5日(土) 出席者:29名

会 場:那覇市「ホテルロイヤルオリオン旺の間」



出席者: 喜屋武 光信(S.37卒)/大城 守代(S.38卒)/町田 宗徳 (S.40卒)/當間 栄助(S.45卒)/東 伸三(S.46卒)/宮国 忠夫 (S.48卒)/仲村 義明(S.49卒)/徳田 永伸(S.51卒)/山城 秀 邦(S.52卒)/嶺井 政孝(S.53卒)/比嘉 政則(S.53卒)/儀間 恭昇(S.53卒)/仲嵩 由成(S.56卒)/仲地 泰啓(S.56卒)/名 嘉山 降(S.57卒)/山川 光雄(S.57卒)/高江洲 博文(S.58卒) /仲井間 宗邦(S.59卒)/赤嶺 維栄(S.62卒)/崎山 英則(S.62 卒)/赤嶺 昇(H.03卒)/當眞 敦(H.09卒)/徳田 拓朗(H.21卒) [近畿支部会員]當眞 嗣正(S.39卒)/中澤 広(S.55卒)/山内 剛志(S.59卒)/今西 康裕(S.52卒)

[事務局]猪口 眞美、濱水 一彦

●支部総会及び講演会、懇親会 18:30~21:00

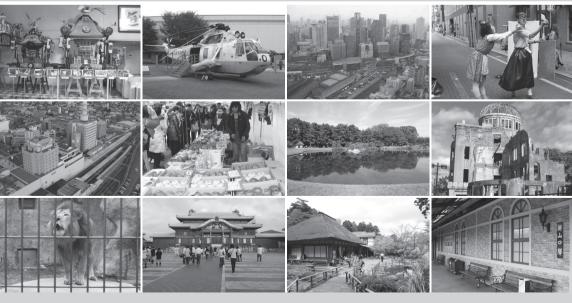
- 1.開会挨拶/司会·進行:當間 栄助辞
- 2.支部長挨拶/徳田支部長
- 3.学校代表挨拶(報告)/校友会事務局:猪口 眞美
- ◇学校の現状報告など
- 4.校友会事務局報告/校友会事務局:濱水一彦
- ◇沖縄県出身学生の在籍状況など
- 5.役員改選
 - ◇20周年記念事業「記念植樹祭」
 - ◇「完成 未来空間 蒲田キャンパス」校
- 6.講演会 19:00~19:30
- 司会·進行:仲村 副支部長
- 沖縄県県議会議員 赤嶺 昇 先生(本校OB)
- ◇自己紹介
- ◇本学園入学の経緯
- ◇沖縄振興計画について











校友会「支部会員の集い」の様子は、下記ホームページでもご覧になれます。 http://www.kouyukai.net/

平成24年度 支部事業

支部会員の集い開催予定

支部会員の集いは2年に一度開催されます。 総会では役員改選の後、支部活動について のご意見をお聞かせいただき、その後の懇親会 では地元の校友との情報交換やネットワークづく 道校・東京工科大)の卒業生をお誘いのうえ、多 りの活発化を図ってまいります。また、講演会、

研修会、見学会、レクリエーションなどを積極的に 企画している支部もあります。

お知り合いの校友、姉妹校(八王子校・北海 数ご参加いただけますようお願い申し上げます。

支 部 名	開催月日(曜)	開催地	支 部 長
岩手県支部	7月28日(土)	盛岡市	阿部 富美雄
福島県支部	10月6日(土)	いわき市	荒 俊之
栃木県支部	7月15日(日)	宇都宮市	川岸 稔
群馬県支部	12月1日(土)	前橋市	山口 剛
福井県支部	7月 29日(日)	福井市	笈田 義和
山梨県支部	12月8日(土)	甲府市	名取 宏典
愛知県支部	10月21日(日)	名古屋市	石川 隆行
兵庫県支部	10月14日(日)	神戸市	新庄 吏奈
鳥取県支部	11月10日(土)	米子市	吉村 哲正
島根県支部	11月10日(土)	米子市	藤原 義広
徳島県支部	10月13日(土)	徳島市	岡本 和之
香川県支部	11月11日(日)	高松市	渡邊 博文
愛媛県支部	11月17日(土)	松山市	佐々木 剛司
高知県支部	11月18日(日)	高知市	林寛
福岡・佐賀支部	10月20日(土)	福岡市	穴見 誠
長崎県支部	10月27日(土)	長崎市	釘山 威
熊本県支部	11月24(土)	熊本市	清田 茂信
宮崎県支部	11月23日(金)	宮崎市	川添 守
韓国支部	調整	整中	李 芙暻
台湾支部	調整	唐 偉倫	

卒業生の 集まる会 宮崎県支部 ・・・・・・・・・・・・ 8月25日(土) 於:日向市 青森県支部 ・・・・・・・・・・10月7日(日) 於:八戸市 首都圏支部 ・・・・・・・・・・・11月3日(土) 於:蒲田校 宮城県支部 ・・・・・・・・・・11月17日(土) 於:仙台市 富山県支部 ・・・・・・・・・・・12月 1日(土) 於:富山市

*日程は都合により変更することがあります。



本校は、昭和22年東京都大田区蒲田の一角に戦災の灰燼を払い校舎を建設し、「創美学園」として発足し平成24年、創立65周年を迎えることができました。これ迄に約13万8千人の卒業生を実社会に送り出し、卒業生の皆さんがそれぞれの分野での活躍が社会的にも高く評価され、本校がここまでに発展してこられたのも卒業生の皆さんのご活躍のお陰と感謝しております。

昭和41年(1966)~昭和49年(1974)

我が国初のコンピュータ教育を開始

昭和41年当時、我が国の電子計算機台数は3,000台となり、電子計算機時代の到来が叫ばれ、この部門に携わる技術者の数は少なく、各メーカなどは短期の講習会などにより応急対処している状況であった。

本校では"電子計算機時代の到来"を予測し、電子計算機技術者養成を考え、その準備として工場見学を行い、日本電気(株)の協力を得て電子計算機NEACシリーズ2200-モデル200を1億2千万円という巨額の機器を7千万円で購入することができ、2号館2階の1室を改造して電子計算機教育センターとし、41年10月、電子計算機部を設立、第二部(夜間)、修業年限1ヶ年のソフトウェアコースとして発足し、第一期生69名入学した。



▲第一電子計算機教育モデルセンター

当時、実習用電子計算機を設置し、1年間以上の長期にわたる電子計算機の教育機関はなく、本校が、 我が国では大学・専門学校を問わず最初であり、現在のようにコンピュータが普及するとは誰も想像しな かった。

翌年4月には、ソフトウェアコース一年制、第二部に加え第一部、修業年限2ヶ年の学科を増設した。

☆ 電子計算機部ハードウェアコースを新設

上述のようにプログラマ、オペレータに必要なソフトウェア全般の教育を行なうことを目的としてソフトウェアコースを新設したが、電子計算機システムとハードウェア技術全般の教育を行なうことを目的として、42年4月、第一部、修業年限2年のハードウェアコースを新設し、ソフトウェアとハードウェア両面の教育体制を整えた。

* 放送技術部を電子工学部に改称

昭和33年10月設置された放送技術部も、36年9月第二級無線技術士の認定を受けて以来無線技術士の資格取得を目的として入学する学生が増加し、卒業生の就職先もNHK、全国民間放送局の放送技術関

係ばかりでなく、無線従事者として航空局、電々公社や、無線技術士として東芝、日本電気など弱電メーカに 就職する者も多くなったことから42年4月、放送技術部を**電子工学部**と改称した。

☆ 校友会の前身、研友会発足

本校も創立20周年を迎え、卒業生も15,000名を越え、国内はもとよりも世界各地においてめざましい活躍をされ、卒業生の皆さんから、卒業生、在校生の親睦を図るため校友会的な組織の設立の希望が多く寄せられた。このため在京卒業生の有志や卒業後本校に奉職している先生方の協力により、昭和42年4月、「会員相互の親睦、研修を図ると共に教育、学術、文化の発展に寄付する」ことを目的として「研友会」を設立し、永続性のあるものとするため機関誌「かまた」を発刊する運びとなった。創刊号には、清瀬一郎名誉学院長より「巻頭言」が寄稿された。



発足当初、研友会会費として正会員は3ヶ年を単位期間として2,000円、

準会員(在校生)は一年生400円、二年生800円を徴収することとしたが、昭和46年、会の名称を「校友会」 と改め、会費は入学時に終身会費として2,000円徴収することになったが、現在は終身会費として入学時に 12,000円を徴収している。

☆ 清瀬一郎名誉学院長が逝去

昭和42年6月27日、本校の精神的支柱であった清瀬一郎名誉学院長が逝去されました。清瀬一郎名誉学院長は、それまで別段の異常もなかったのですが6月27日夜、急性肺炎のため突如として御他界され、本校としては驚愕の極みでした。

清瀬名誉学院長は、公務がどんなに多忙であっても入学式、卒業式には必ずご出席を頂き、学生諸君に親しく心からの激励のお言葉を賜り、本年4月研友会の機関紙「かまた」創刊号の「巻頭言」を寄稿されたのが最後の文となりました。その遺稿は清瀬名誉学院長の本校、研友会に対する遺書ともいうべき文書となった。

* 電気工学科を新設、電気主任技術者養成の認定を受く

44年4月、電気主任技術者の養成を目的として**第一部、第二 部、修業年限2ヶ年の電気工学科**を新設した。

40年7月、電気事業法の改正により、電気主任技術者学校認 定制度が設けられ、認定学科を卒業し一定の実務経験を経て電 気主任技術者の免許が与えられることになった。

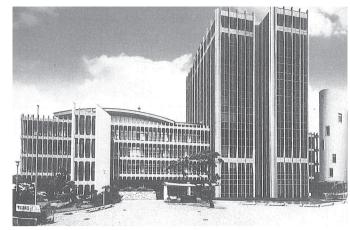
本校では、認定基準に基づき、実験設備を整え、通商産業省に電気主任技術者養成施設として学科認定申請を行い、45年10月、この種の学校としては初めての、第一部、第二部とも第二種電気主任技術者の認定を受けることができた。



▲120万V衝撃電圧発生装置

❖ 待望の新校舎(3号館)が完成

学生数の増加に備えるとともに、教育設備の充実を図るため、2号館完成と同時に新校舎の建設を計画し、隣接地4,347㎡(1,315坪)を購入、約2ヶ年の歳月をかけて建設し、地下2階、地上低層部4階、高層部11階延べ面積14.412㎡(4.360坪)の斬新なデザインで、画期的な視聴覚教育システムなど最新の教育施設、



▲新校舎(3号館)が完成





▲ボーリング場

室内体育館、ボーリング場等各種施設を備えた近代的校舎が44年11月完成した。新校舎(3号館)の完成に ともない、教育設備も拡充され、設置学科も多くなり、在校生も8,000名に達した。



▲蒲田寮



新校舎が完成し、教育設備が整うとともに地方出身者 の増加にともない学生寮の希望も多く、多摩川寮だけでは 不足し、学校まで徒歩15分、大田区西六郷1丁目に鉄筋4 階建て延べ面積2,719㎡、寮生400名収容の「蒲田寮」が 44年3月完成した。



▲京浜寮



▲城南寮

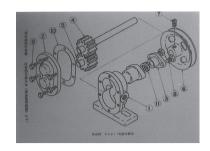
❖ 京浜寮が完成

蒲田寮の完成に引き続き、学校まで徒歩18分の大田区 西六郷2丁目に鉄筋5階建て延べ面積3.841㎡、寮生600名 収容の「京浜寮」が45年3月完成した。蒲田寮と同様に食 堂など寮生活に支障のないようすべての設備を整えた。

❖ 城南寮を開寮

大田区西蒲田5丁目、学校から徒歩3分の位置にあり、 鉄筋5階建て延べ面積2.194㎡の社員寮と、テニスコート2 面を日本ユニバック㈱から譲り受けたもので、全館冷暖房 完備、娯楽室には卓球台、テレビを設置、清潔な食堂、浴 室も完備しデラックスな寮で、寮生220名収容でき、「城南 寮」として46年4月開寮した。

城南寮の開寮により、多摩川寮、蒲田寮、京浜寮と合 わせて寮生の収容定員は1.500名となった。



❖ テクニカル・イラストレーション科を新設

テニクニカル・イラストレーション(工業立体図法)は、生産技術の複雑 化にともない、設計製造部門、工程管理部門などにおいて、技術説明 資料、サービス資料等、多方面に活用されはじめた。

しかし、テニクカル・イラストレーションの専門養成機関はなく、養成の 必要が予想されるため、46年4月、第二部、修業年限1年のテクニカ ル・イラストレーション科を新設した。

48年4月から学科名を「立体製図科」と改称し、従来の第二部のほかに第一部の課程を新設、更に56年 4月から第一部、修業年限2年に改めた。

❖ レーザー工学科新設

レーザー光線は比較的新しい不思議な光線である。

レーザーは意欲的研究により急速に発展し、光通信、 精密加工、精密測定、医学など、あらゆる科学分野への 応用範囲が広まり、産業界でのレーザー光線の利用が急 速に進むにしたがい幅広いレーザ技術を身につけた技術 者の要求が高まり、本校でも43年7月、松平維石講師の 指導によりレーザー工学研究会を発足、電子工学部研究 科の卒業研究テーマとして教育を開始したが、46年4月、 レーザー工学に関する本格的教育を行なうため電子工 学系卒業生を入学対象とした修業年限1ヶ年、第二部、 レーザー工学科を新設した。

また、60年3月~9月、「科学万博つ くば85」が開催され、本校はレーザー 研究成果の一つとしてレーザー技術 を活用した3原色のレーザー光線を 使った大型カラーテレビディスプレイ システム(100吋レーザーカラーテレ ビ)を健康スポーツ館(大塚製薬ブー ス)に展示し、650万人の目に触れ高 い評価を得た。



▲レーザーディスプレイ実験装置



▲科学万博健康スポーツ館



▲出展したレーザーディスプレイ システム

☆ ハワイ大学と提携、夏期講座に参加

ハワイ大学は、アメリカでも有数な総合大学であり、夏期 講座はアメリカ各地の大学生を対象に開設されているが、 数年前から日本の学生にも門戸が開放されていた。このた め、本校では45年10月関学院長、藤尾学生部長がハワ イ大学を訪問し、夏期講座学長シュンゾウ・サカマキ博士 に夏期講座への提携参加を申し入れ快諾された。このた め、46年7月28日関学院長を団長とし教員10名、学生156



▲ハワイ大学ジィファーソン前にて記念撮影

名がお揃いのブレザーでハワイ大学夏期講座に参加した。夏期講座期間は27日で、参加費は198.000円で あった。

経済成長とともに経済的にも恵まれ、多くの若者は海外旅行に出掛けるようになり、ハワイ大学夏期講座 に参加する学生も年々少なくなり数十名に減少したことから、平成5年、第23回夏期講座参加をもって提携 を終了した。

☆ 雷気工事科の新設

家電製品のサービスエンジニアと、電気工事士養成のた め40年4月、サービス技術科を設置したが、電気工事士から 高圧電気工事技術者、消防設備士まで、一貫して習得で きる専門の学科として、第一部、第二部、修業年限2ヶ年、 の電気工事科を新に新設した。

一年次を電気工事十コースとし、電気工事十として電気



▲組立の終わった変電室の仕上げ作業

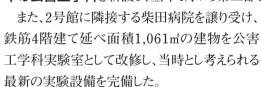
工事業に携わる人材を育成し、初心者が電気工事士免許を取得できる最短コースで、一年次修了者には 電気工事士の免許が与えられる。

二年次は、工事技術者コースとし、電気工事十コース修了者及び、電気工事十免許取得者を対象に、高 圧電気工事技術者、消防設備士の養成と、放送設備を含む設計積算業務など、より実務に対応できる上 級の電気工事技術者を養成する専門のコースである。

❖ 公害工学科を新設

我が国経済の目覚ましい発展は、科学技術の進歩と裏表の関 係で、今まで予期されなかった水俣病、イタイイタイ病、四日市ぜんそ く、ヘドロ公害、光化学スモック、PCB汚染、産業廃棄物、新幹線 騒音など公害が大きな社会問題となり、46年7月、環境庁が発足 し、翌47年には公害関係法が公布され、行政機関や、特定企業 に対して公害防止技術者の配置が義務づけられた。

このような情勢から、本校は、47年4月、第一部、修業年限2ヶ 年の公害工学科を新設し、翌年4月から第二部も開設した。

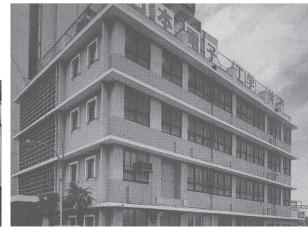




▲悪臭実験室



▲吸着実験装置、急速ろ過実験装置



▲柴田病院を譲り受けた公害工学科実験棟

☆ NTVのテレビ実況中継を担当

日本テレビ放送網(株)から、47年4月から放送されるテレビ番組 「テレショップ」の実況生中継を学生実習を兼ねて担当してく れないかとの依頼を受け、当初は白黒テレビでもよいからとの 依頼であったが、検討の結果、放送効果を考えカラーテレビと し、中継車の白黒テレビカメラ装置を撤去し、新にカラーテレビカ メラ装置(TK-301)を装備し中継を担当することになった。

「テレショップ」は毎週土曜日10時30分からの30分番組で1 年間生中継を担当し、大きな成果を納め、これを機会に本格的 大型中継車を購入し、翌年からは事業部としてテレビ放送制 作室を設立し、テレビ局の依頼に応じ「ズームイン朝」「ゴルフ中 継」、「高校サッカー全国大会」など、多くの番組を担当し、本格 的に実況中継業務を行なうことになった。



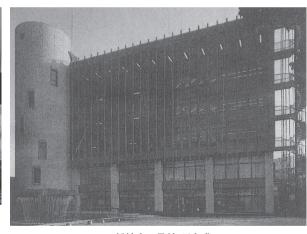
▲駒沢オリンピック競技場での体育祭中継

❖ 新校舎(5号館)が完成

3号館隣接地を購入し、鉄筋6階建て延べ面積2,759㎡(835坪)の新校舎(5号館)が47年12月完成した。 新校舎は、3号館と池上の渡り廊下で結ばれ、1階には2号館の電子計算機を移設し、更に大型電子計算 機NEACシリーズ2200-モデル500を新規導入し、我が国最大の教育用電子計算機センターとなった。2階は カードパンチ室、学生相談センター、6階は近代的な視聴覚製図室とした。



▲カードパンチ室



▲新校舎(5号館)が完成

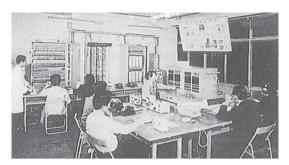
❖ 有線通信工学科を新設

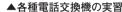
コンピュータの普及発展にともない、コンピュータと通信回線を結び膨大な情報を通信回線を利用し迅速 かつ正確に伝送できるデータ通信が可能となった。

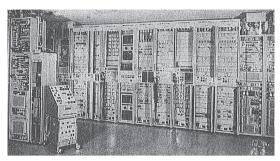
電気通信は電々公社の占有業務であったが民間から電気通信回線の開放が叫ばれ、46年9月、「公衆 電気通信法 | が改正され、通信回線の開放が実現し、公衆通信回線がデータ通信に利用できるようになり、 通信回線の利用が大幅に拡大した。また、通信回線の開放にともない、データ通信設備の設置、保守に携わ る者の資格として「公衆電気通信設備工事担当者第四種」の資格が新に制定された。

本校では電々公社に各種学校に対する認定制度の制定を働きかけ、48年11月、各種学校認定制度が 制定された。このため、本校では新たなデータ通信・有線通信関係技術者養成のため、49年4月、修業年限

2ヶ年、第一部と、**修業年限2年6ヶ月の有線通信工学科**を新設し、同時に公衆電気通信設備工事担任者第四種の認定を受けることができた。







▲通信回線用マイクロ波通信装置

昭和50年(1975)~昭和60年(1985)

専門学校として工学・芸術の総合教育機関として教育体制を確立

❖ 芸術学部を設立

我が国の産業の発展は技術であり、その新しい技術こそ我が国の発展につながると確信し、創立当初の 美術・技芸教育を中断し技術教育に専念してきたが、芸術分野の教育は常に理事長の心の内にあった。

新しい技術に即応した学科を設け、教育設備の拡充を図り教育体制を整えてきたが、今の教育は工学と芸術の総合教育が必要であることから、50年4月、新に芸術学部を設立し、放送制作芸術科と映像・デザイン・美術科を新設した。

❖ 放送制作芸術科の新設

これまで放送技術部では放送に関するハード面の放送技術者の養成を行なってきたが、放送業界の多様化なニーズに応え、演出、企画、脚本、カメラ、照明、ミクサ等放送に関するソフト面の教育を目的として50年4月、芸術学部に、第一部、第二部、修業年限2ヶ年、の放送制作芸術科を新設した。これにより放送関係のハードとソフト両面の教育体制が確立した。



▲VTR編集室



▲第二テレビスタジオ

放送制作芸術科の新設にともない、3号館地下2階

のボーリング場を改造してテレビスタジオとし、カラーカメラ装置(TK-301A)3台、SCR調光装置、音声調整卓等最新のスタジオ設備を導入、地下1階にVTR編集室、2号館2階にラジオスタジオを設け本格的教育を開始した。

更に、55年3月、実験・実習棟(6号館)完成にともない、3号館地下2階の電気工学科実験室を6号館に移設し、テレビスタジオとして改造した。

❖ 映像・デザイン・美術科の新設

高度化する情報を表現し創造するそれぞれの分野に即応した幅広い実戦力となりうる専門家を養成する

目的で映像・デザイン・美術の三つの分野を総合的に学ぶことにより、新 しい芸術の担い手となる人材を育成する目的として50年4月芸術学部 に、第一部、修業年限2ヶ年の映像・デザイン・美術科を新設した。

1号館にダビング室、フイルム編集室、アニメーション撮影室、版画室、デザイン室、アリエ等それぞれの分野の実習設備を整えた。



▲絵画実習



▲シルクスクリーン実習



▲デザイン基礎実習

☆ 専修学校の認可を受く

50年、専修学校制度の創設に関する「学校教育法の一部を改正する法律」が公布され、文部省令が翌51年1月施行された。専修学校は、学校教育法第82条の2「職業若しくは実際生活に必要な能力を育成し、または教養の向上を図ることを目的とする」教育機関である。

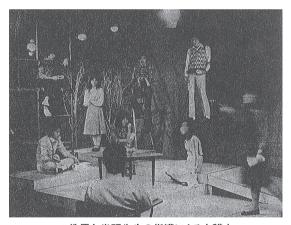
本校では、工業専門課程、芸術専門課程の申請を行い、51年7月認可された。専修学校の認可により、 校名を「日本工学院専門学校」に改め、従来の校名「日本電子工学院」を法人名とし、専門的職業教育機 関として大きく発展を期すことになった。

☆ 演劇科の新設

50年、芸術学部を設立し、ラジオ・テレビ放送の 番組制作に直接参加するスタッフ養成の放送制 作芸術科を設置したが、更に教育領域を拡大し演 技者、演出家養成を目的として51年4月、芸術学部 に、第一部、修業年限2ヶ年の演劇科を新設した。

演劇科は、舞台俳優養成を主眼とし、スタジオ設備、ホール設備を効果的に活用し、1号館2階に稽古場を設け、実技を中心に舞台俳優としての身体訓練、演技表現訓練など基礎訓練を重点的に行い、また放送制作芸術科の実習にも参加してカメラに立ち向かう自信と気魄、制作現場の緊張した雰囲気など、幅広い技術を身につけさせる。

重田千穂子{一期生(NHKドラマ「おえどでござる」に出演)、原日出子、阿知波悟美や、鐘下辰男 {7期生(演劇作家、演出家、文部大臣賞新人賞、 紀伊国屋演劇賞個人賞、読売演劇大賞優秀演出 家賞、最優秀演出家賞など受賞多数)}が活躍して いる。



▲俳優久米明先生の指導による立稽古



▲立ち稽古

☆ 青砥寮の開寮

横浜市緑区青砥町、横浜線から徒歩25分の位置にある、鉄筋 5階建て延べ面積8.058㎡、寮室250室の他、娯楽室、休憩室、食 堂、浴室、暖房完備で500名収容可能な独身寮を関東菱重興産 (株から譲り受け改装し、中庭にテニスコート1面を設け「青砥寮」と し、54年4月、男子寮として開寮した。

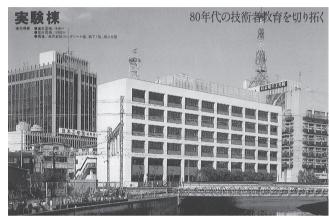


▲青砥寮

・ 専門学校として理想的実験・実習棟(6号館)の完成

昭和53年、創立30周年を迎え、理事長よ り実験棟を建築するので専門学校として理 想的実験・実習を考えよとの指示を受けた。

実験棟は、柴田病院より譲り受けた公害 工学科実験室として利用してきた鉄筋4階 建ての建物も解体し、地下1階、地上6階建 て延べ面積5,983㎡(1,810坪)で、各学科と 打ち合せ、地下1階に公害工学科の実験で 排出される廃液処理装置、3階に電波を遮 蔽するシールドルーム、4階はマイク・スピーカな どの特性測定のための無響室などを設け、 電源ケーブル、通信ケーブルの配線ピットを 床に設け、各学科毎最新の実験・実習設備 を導入し、理想的実験・実習ができるよう設 備の拡充を図り、理想的な実験・実習棟が 55年3月完成した。



▲昭和55年に完成した実験・実習棟

無響室(写真上)と付属のB&K▶ 万能周波特性測定装置



▲公害工学科の天秤室



特性測定装置

❖ 独立した図書館落成

▲シールドルーム

学校創立30周年を記念して、3号館隣接地2.286m(691坪)の敷地を購入し、2階建て鉄骨延べ面積802 ㎡(242坪)の図書館が昭和55年3月完成した。

1階は5万冊収蔵の書庫と絵画を陳列した美術サロン、2階は座席数250席の学生閲覧室と教職員閲覧 室、館長室を設け、玄関前には直径13mの「希望の泉」を造り、最良の環境で勉学できるようになった。



▲図書館と希望の泉



▲ロビーに飾られた理事長の絵画 「若者よ大望を抱け」

待望の図書館、実験・実習棟 が竣工し、55年4月26日、2号館 ホールに於いて落成式が挙行さ れた。尚、当日は、設計事務所3 社による八王子キャンパス建設 計画や設計模型が展示され、参 列者の関心をよんだ。



▲美術サロン



▲学生閲覧室

☆ 音響芸術科、音響工学科を新設 【音響芸術科】

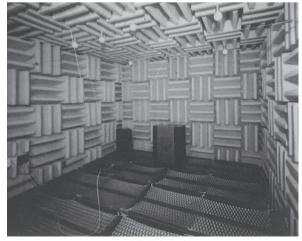
これまで放送制作芸術科でミクサー・録 音コースを設け教育してきたが、1号館に本 格的録音スタジオを設け、ミクサー、PA技術 者など音響芸術に関する幅広い分野で活 躍できる人材育成のため第一部、修業年 限2ヶ年の音響芸術科を新設した。



▲1号館1階 第一録音スタジオ設備

【音響工学科】

音響芸術科は、音響に関するソフト面の人材 の育成であり、音響の世界もデジタル技術の導 入によりコンパクトディスクやPCMシステムなど新 製品が開発され、ミクシング卓もコンピュータ化さ れ、今後は放送局や各種ホール、劇場で活躍し てきたミクサーやレコーディングエンジニアもソフト 的技術だけでなくハードウェアを身につけたミク サーの養成が必要であり、実験・実習棟建設の 際無響室を設け最新の設備を整え、高度なハー ドウェアを身につけたミクサーの養成を目的とし て、第一部、修業年限2ヶ年の音響工学科を新 設した。



▲本格的無響室

☆ 日本工学院北海道専門学校の建設

昭和54年4月、登別市長に就任された中浜市 長は、まちづくりは人づくりの信念のもと、学園都市 づくりを市発展の大きな柱と位置付けた。

54年7月、中浜市長から理事長宛に一通の手紙が届いた。その内容は、土地を提供する故本校を誘致したい旨の要請であった。市長からの誘致要請であることから8月、学校職員3名を派遣し、市長の案内で現地を視察したが、市街から約4km離れ、上り坂砂利道で狭く、提供される予定地は旧農家の牧草地で荒れはてていて、このような場所に学校を開校しても学生確保は難しいと考え理事長に報告、理事長も9月、現地を視察し、この地では学生確保は難しいとの結論に達し市長に進出を辞退する旨を伝えたが、市長から学生確保は市が責任を以て行なうとのことで、その後、検討、協議の結果、11月登別進出を決定した。

翌年4月、登別市と185,000㎡(56,000坪)の土 地譲渡契約が行なわれ、その後、農地転用、開発



▲提供された6万坪の牧草地



▲除雪して建設工事再開

行為、学校設立許認可申請、11月、地鎮祭、引き続き土地造成工事、杭打工事を行い、翌56年春雪解を待ち3月に除雪を行い本格的建設工事を再開し9月、待望の本部棟、教室棟、運動施設としてテニスコート5面が完成し10月12日、落成式が盛大に挙行された。



▲完成した日本工学院北海道専門学校

❖ 日本工学院北海道専門学校開校

昭和57年4月、登別市総合体育館に於いて、第一期生540名を迎え日本工学院北海道専門学校第一回 入学式が挙行された。

開校当初の設置学科は、情報処理科、ソフトビジネス科、情報工学科、電子工学科、電気工学科、建築学科、土木工学科で入学定員640名、設置学科に関しては、蒲田校での学生応募状況のよい学科と、開発の

進む北海道の事情を考慮して建築学科と土木工学科を設けた。

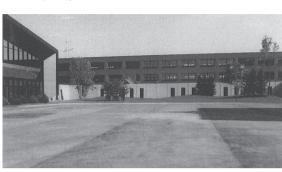
定員1.280名は、道内の私立専修学校157校の中では最大規模となった。

・・・ 日本工学院北海道専門学校に体育館、実験棟が完成

心配された、初年度入学生の応募状況も順調なことから、教育施設の拡充と、冬季は降雪のため屋外での運動ができないことから、実験棟と体育館の増築を行い、58年3月完成した。



▲完成した体育館



▲完成した実験棟

❖ 医用電子工学科の新設

近年医学関係における医用機器は高度化し、医用機器の開発、 製造、保守点検に携わるME技術者に対する要求が高まり、これまで 電子工学科卒業生の多くが関連企業に就職し業務に携わってきた が、今後は電子工学、コンピュータ技術に加え、医学の知識が必要と なり、医学、医療の基礎、医用機器についても習得できる学科として、 57年4月、第一部、修業年限2ヶ年の医用電子工学科を新設した。

学科設置に先駆け、X線テレビ透視撮影装置、超音波診断装置、ポリグラフ、サーモトレーサ、心電図計、脳波計、レーザ関連機器などを整え、より高度の実験ができるよう万全を期した。

また、医療機器の操作、点検保守に従事するため、63年4月、臨床 工学技士法が施行され、厚生大臣による学科認定制度が設けられ た。

本学科も、認定基準に基づき教科目の再編成を行い、学科名を 「臨床工学科」に改め、修業年限3ヶ年、第一部、入学定員120名と して学科認定の申請を行い、63年6月、臨床工学技士養成校とし厚 生大臣指定の学科認定を受け、本格的な医療コースが誕生した。



▲ポリグラフ操作実習



▲X線テレビ透視撮影装置



▲超音波診断装置実習



▲人工心肺装置実習



▲人工透析装置実習

❖ 関学院長が逝去

昭和39年10月、第3代学院長に就任されて以来19年間お元気で登校され、45年11月、勲三等瑞宝章を 受賞されました。入学式の挨拶では「私は一日必ず一万歩は歩くことにして足を鍛えることは頭の老化をさせ ない秘訣です」とよくお話になり、常に青年のような明るさと素直さ、西欧的スマートさがその人柄に漂っており ましたが、56年12月、軽い風邪を引かれ大事をとって近くの病院に入院されましたが翌57年2月12日、89才で 天寿を全うされご他界されました。3月12日、青山斎場に於いて学校葬がしめやかに行なわれました。

** 工学博士 高木昇氏が第四代学院長に就任

関学院長逝去にともない新学院長として57年3月1日付けで、工学博士 高木昇氏が第四代学院長に就任された。

高木新学院長は昭和6年、東京大学を卒業され、理化学研究所、東京 工業大学を経て、9年日本大学工学部、17年東京大学に移り、宇宙研究 所を創設し初代所長として5年勤められ、また國際電気標準会議(IEC)会 長に就任され、教育・研究分野で活躍されています。



四代校長 高木 曻 東京大学名誉教授

在任期間:1982.3 ~1987.3 (蒲田校)

☆ メカトロニクス科を新設

電子工学、機械工学、情報処理のメカトロニクス関連技術の基礎から応用技術に至まで教育し、あらゆる メカトロニクス製品の開発設計の技術者を養成することを目的として、58年4月、第一部、修業年限2ヶ年の メカトロニクス科を新設した。

メカトロニクス科新設に先立ち、マシニングセンター、NC旋盤、フライス盤、旋盤、工業用ロボットなど最新の 実験設備を整えた。







▲ロボット操作実習

▲NC旋盤実習

▲機械工学実験室

☆ OAシステム科を新設

パソコン、ワープロ、ワークステーションなどOA機器を自由に使い こなし、事務処理プログラム、各種OAソフト利用などOA時代に即 応した知識、技能を学び、新時代のビジネス意識と感覚を身につ けたオフィスワーカを養成する目的で、61年4月、第一部、第二部、 修業年限2ヶ年のOAシステム科を新設した。



▲ワープロ実習

昭和61年以後は、次号49号に続きます。

写真である、校舎の変遷

昭和22年(1947年)5月、理事長 片柳 鴻により、大田区女塚3丁目(現在西蒲田5丁目)に絵画、洋 裁教育を目的に創設された「創美学園」。以来63年間の歴史を誇る校舎の変遷をたどりました。



創立時の校舎



増築校舎が完成



木造校舎が完成



増築した木造モルタル2階建て校舎

昭和44年



1号館が完成





5号館が完成



6号館(現在の5号館)が完成



7号館が完成

3号館が完成



6号館(旧5号館)が完成



8号館が完成



アニメ・デザイン館(6号館を増築)が完成





平成24年8月現在

平成23年度 卒業証書授与式



平成23年3月17日二年ぶりの卒業証書授与式がパシフィコ横 浜国立大ホールで挙行されました。今年の卒業生は震災後の厳 しい現実のなかで、時には心が折れそうになりながらも「絆」とい う言葉を噛みしめながら一所懸命に勉強し、社会に巣立つため の試練に耐えてきました。当日は理事長、学校長はじめご来賓の 方々から励ましのご祝辞をいただきました。代表者は皆晴れ晴れ しい顔つきで、学校長から卒業証書を受け取っていました。卒業 証書授与式の後、全国コンクールでの入賞者や国家試験での 優秀者等の特別表彰が行われ、会場内の卒業生から表彰者を 称える大きな拍手が沸き起こりました。







第46回 かまた祭 テーマは「絆 ~心を一つに~」



平成23年10月29日(土)、30日(日)の二日間にわたり第46回かまた祭が開催されました。開会式では東京実業高校のマーチングバンド部に先導されて、専門学校・大学両学生実行委員長を先頭に理事長、学校長、地元自治会長らのご来賓の入場行進が行われました。テープカットとともに1000個の風船が快晴の秋空に放たれ、晴れやかに学園祭がスタートしました。今年は「絆~心を一つに~」のテーマのもと様々な会場で専門学校生、大学生達がそれぞれ工夫を凝らしたステージ、イベント、模擬店にと楽しげに参加していました。会場の一角に設けられた震災復興支援ブースでは被災地出身のボランティア学生、教職員らが協力して岩手県宮古市で水揚げされた新鮮なサンマを使った「サンマのつみれ汁」、「焼きサンマ」の販売を行いました。また、被災地から直送された地元海産物の廉価販売を行い、終始賑わっていました。今回の売上金および寄附金は「被災地に漁船を贈ろう!」募金に寄附いたしました。校友会としても10万円の寄附をしました。









平成24年度入学式











今年は昨年入学式が実施出来なかった無念さを払拭するかのように千鳥ヶ淵周辺の桜が満開に咲き誇るなか、平成24年4月10日に武道館にて入学式が挙行されました。来賓としてお二方をお迎えしてご挨拶をいただきました。お一人は俳優・歌手の中村雅俊様です。中村様は震災被害の大きかった宮城県出身で、復興支援に向けて精力的に活動されております。もうお一方は、本校情報処理科卒業生で、サッカーワールドカップで活躍されたFIFA国際審判員の西村雄一様です。お二人の心温まるご祝辞に、式に参列された参加された方々は一言も聞き漏らすまいと熱心に耳を傾けておりました。入学式に参加された新入生はじめ保護者の方々が感動した素晴らしい入学式でした。

第43回 体育祭 テーマは「一致団結 ~その手で勝利を掴みとれ!~」











5月24日(木)大井ふ頭中央臨海公園にて開催され、昨年に引き続き協賛企業としてミズノ株式会社様にご協力をいただき、優秀な成績を収めたチーム全員にはミズノ社のロゴ入りボトルキャップ(水筒)が手渡されるなどして大盛況のうちに終了いたしました。

参加学生達は日ごろ学内外での研究、研修に励む傍、限られた時間の中でチーム編成、抽選会及び競技説明会への参加、クラスに戻ってからは競技進行の説明を全員に対して丁寧に行い、どのクラスもテーマ通り開催前から「一致団結」の姿勢がいたるところで見られました。

そんな中、準備を進める委員会の学生達は、なんとしても「成功」させるために連日遅くまでに学校にのこり、進行、表彰、用具、庶務それぞれのセクションが納得いくまでミーティングを重ね本番運営に備えていました。

幸いな事に天候に恵まれ大きなトラブル、事故や怪我も無く、「一致団結」のテーマに相応しく多くの感動と笑顔の中、また学生達のもう少し楽しみたいなという余韻を残しながら成功裏に体育祭を終えることが出来ました。

かまた祭のお知らせ

平成24年度第47回かまた祭は、新蒲田キャンパスで専門学校と東京工科大学との共同開催となり、11月3日(土)、4日(日)の2日間で行われます。斬新なアイデアと企画で、昨年以上に盛り上げようとスタッフー同大いに張り切っています。是非、後輩の活躍をご覧下さい。

★ 多くの方々のご来場をお待ちしております! ★













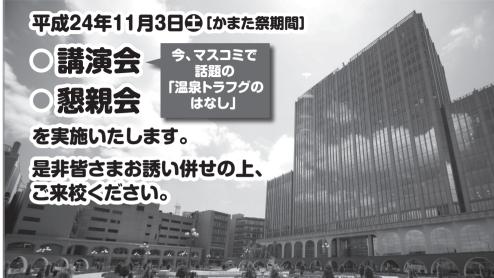






日本工学院専門学校「校友会 |

首都圏支部 平成24年度行事のお知らせ



皆さま、学友をお誘い併せの上、ご来校ください!

平成22年4月、 学校法人片柳学園 日本工学院専門学校は 大きく生まれ変わりました!

卒業生専用の12階 「校友会ラウンジ」が オープン! 蒲田の地に 東京工科大学の2学部 (医療保健学部、デザイン 学部)も新設されました!

11月3日(土)、4日(日)の二日間「かまた祭」が行われます。 校友会では下記のとおり、講演会、懇親会を行います。

講演会・懇親会 平成24年11月3日(土)

★ 講演会 16:00~ 3号館10階 31005教室 「温泉トラフグのはなし」野口勝明氏

★ 懇親会 17:30~19:00 6号館2階 フーズフー

懇親会会費: 2,000円 ※懇親会のみの参加可当日は「トラフグ」の試食会があります。

お問合せ先



日本工学院専門学校

校友会事務局 ☎03-3732-8183

日本工学院ニュース/第47回 かまた祭のお知らせ

キャリアサポートセンターからの報告



キャリアサポートセンターでは、就職・デビュー・進学とあらゆる進路先のサポート をしています。

社会環境は、まだまだ不安定な要素をたくさん含んでいます。その中で、多彩な 分野で活躍されている諸先輩OB&OGのおかげで、企業様とのお繋がりができ、と ても感謝しております。



当センターでは、業界ごとの採用時期に合わせて、合同の企業説明会や企業ごと の個別の説明会を実施し、求人企業様と学生の綱渡しをさせていただいております。 諸先輩方の現場でのお話を聞くことで、社会に出る厳しさと共に、それ以上に卒業 後の進路に向けて夢を膨らませています。今後ともご参加をお待ちしております。

業界の話はもちろんですが、Uターンに必要な情報等、後輩たちにとりまして、ご 意見等いただけると助かります。校友会様の行事や、当校の学園祭等の催事など、ご 機会があり来校されたときには、是非お立ち寄りください。今後とも校友会の皆様 の更なる後輩学生へのご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

■ 平成24年度 キャリアサポートセンター行事日程表(一部掲載)

	開催予定日	期間	行 事 名	参加予定	場所
1	平成24年2月28日(火)	1日間	IT&テクノロジー企業合同説明会	50社実施済み	本校
2	平成23年4月18日(水)~22日(金)	3日間	春季合同説明会	332社実施済み	PIO産業プラザ
3	平成24年6月27日(水)	1日間	大田区企業合同説明会	23社実施済み	本校
4	平成24年10月4日(木)	1日間	秋季合同説明会	80社予定	東京都産業貿易センター
5	平成24年11月8日(木)	1日間	医療合同説明会(臨床)	15病院予定	本校
6	平成24年11月10日(土)	1日間	劇団・プロダクション合同説明会	50団体予定	本校
7	平成24年11月28日(水)	1日間	音楽系企業合同セミナー(1年生対象)	20社予定	東京都産業貿易センター
8	平成24年11月16日(金)	1日間	就職模擬試験(1年生対象)	_	本校

★★★★ 求人情報ご提供のお願い ★★★★

当校後輩学牛へのご求人、業界へのアルバイト情報が有りましたら、 下記までご連絡ください。尚、お問い合わせの際には、 当校のOB&OGである旨をお伝えください。



日本工学院専門学校 教育・学生支援部 キャリアサポートセンター担当

TEL:03-3732-5610(直通) FAX:03-3732-1123

E-Mail: syusyoku@neec.ac.ip

Webからの直接求人申込(新卒対象のみ)は 当校HPより「採用企業の皆様へ」のバナーよりご入力ください。

平成24年3月

教職員退職者報告

永年ご指導くださいました次の先生方が、定年または一身上のご都合により 退職されましたのでお知らせいたします。

氏 名	所属等(退職時)
山内 忍	蒲田校 医療力レッジ
茂木 理恵	蒲田校 医療力レッジ
佐藤 裕子	蒲田校 医療力レッジ
加藤都三	蒲田校 教務部
重信 幸一	蒲田校 教務部
金 貞宣	蒲田校 教務部
山本 敏正	八王子校 テクノロジーカレッジ
志茂 寿昭	八王子校 キャリアサポートセンター
田村一昭	八王子校 キャリアサポートセンター
工藤 光弘	東京工科大学 事務局
梅松 誠	東京工科大学 事務局



阪本 利晴

● 蒲田校 クリエイターズカレッジ

工学院39年! 多くの方々と出会 えました。ありがとう!! 次は現場で す。お手柔らかに。



杉山 靖夫

● 蒲田校 教務部

光陰矢の如し。入職以来36年にな ります。卒業生の皆さんのご活躍を 心より祈ります。



● 蒲田校 教務部

コンピュータ関連学科を経て学生 相談室を6年間担当しました。あり がとうございました。





● 蒲田校 教務部

全国の校友会会員の皆様、支部会 員の集いでは大変お世話になりま した。母校と校友会の益々の発展を 祈念いたします。



● 八王子校 クリエイターズカレッジ

今後も教育や映像に携わっていき ます。混沌には「行動」が必要です

東 英児



● 東京工科大学 事務局

"自分も"若かった頃の皆さんの元 気な姿が脳裏に焼きついています。 再会を楽しみに!

宮腰 和夫



● 八王子校 教務部

こんにちは。3月で学校を退職しま した。これからも日本で頑張りま

柳 ホヨン



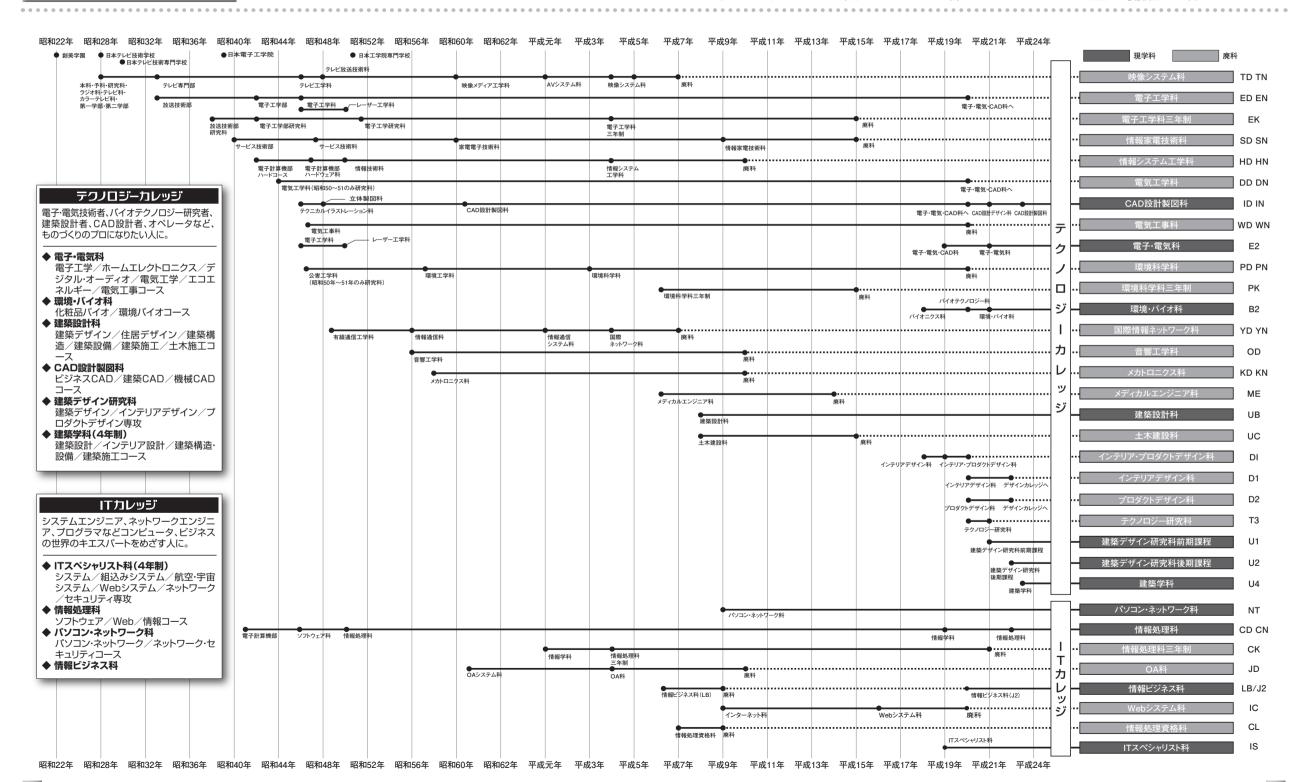
● 東京工科大学 事務局

退職後は、30数年間にたまってし まった埃の積もったゴミの片づけに 追われています。

相原 正二

^{蒲田校} 学科の変遷

実践的なカリキュラムで学べば、 あなたの未来は無限大。 **あらゆる業界をカバーする多彩な学科群**。 日本工学院(蒲田)には、それぞれに高い専門性を備えた6つのカレッジのもと、個々の分野で真に 社会で求められているプロを養成するための多彩な学科がある。学問のための学問ではなく、職業人 として必要な教養とスキルを磨くために練り上げられた実践的なカリキュラム。それらは、日本工学院 という1つのキャンパスに集うことでまったく新しいコラボレーションを生む可能性をも秘めている。



昭和22年 昭和28年 昭和32年 昭和36年 昭和40年 昭和44年 昭和48年 昭和52年 昭和56年 昭和60年 昭和62年 平成7年 平成7年 平成7年 平成7年 平成17年 平成17年 平成17年 平成19年 平成19年 平成19年 平成19年 平成19年 平成24年 現学科 廃科 MM マルチメディア科 クリエイターズカレッジ GM マルチメディア研究科 メディア研究科 メディア研究科前期課程 ゲームやアニメ、CG、テレビや映画で活躍 G4 するディレクターや声優・俳優、デザイナー メディア研究科後期課程 廃科 などをめざしたい人に。 MK マルチメディア三年制 ◆ 放送・映画科 WB Wehデザイン科 デザインカレッジへ カメラマン/照明/映像編集/サウンド CGクリエイター科 CG /美術/制作コース CG・Web コンピュータ CG デザイン科 グラフィックス科 クリエイター科 コンピュータ グラフィックス科 ▲ 吉傷・俳優科 ゲームクリエイター科 GS 声優/俳優・タレント/舞台スタッフ ゲームソフト科 ゲームクリエイター科 コース SK タ ゲームソフト科三年制 ◆ クリエイティブラボ(4年間) GK 高度アニメーション/高度ゲーム/高度 コンピュータ グラフックス科王年制 座科 CGコース L4 クリエイティブラボ科 ◆ マンガ・アニメーション科 クリエイティブラボラトリー科 クリエイティブラボ科 マンガ/アニメーション/キャラクター カ 放送•映画科 **BD BN** 放送制作芸術科 デザインコース 二部磨科 放送メディア科 放送芸術科 放送·映画科 映像デザイン科 ◆ ゲームクリエイター科 VD ッ 映像科 ゲームプログラミング / ゲームプランニ マルチメディアアート科へ GD ミジ ング/ゲームCGコース デザイン科 マルチメディアアート科へ ◆ CGクリエイター科 FD CGデザイン/CGアニメーション/CG 美術科 マルチメディアアート科へ 映像・VFXコース MA マルチメディアアート科 グラフィックデザイン科 デザインカレッジへ AD 声優·俳優科 演劇科 演劇俳優科 俳優·声優科 声優·俳優科 デザインカレッジ AS 演劇スタッフ科 声優・俳優科に統合 デザインカ、キャリアデザイン、人間形成の SA マンガ・アニメーション科 3要素をバランスよく学び、ワンランク上の 総合アニメーション科 マンガ・アニメーション科 デザイナーをめざす人に。 ◆ グラフィックデザイン科(3年制) MA グラフィックデザイン科 グラフィックデザイン/イラストレーショ ŤŤ グラフィックデザイン科 ンコース WB Webデザイン科 ◆ Webデザイン科(3年制) Webデザイン科 Webデザイナー/Flashコンテンツ専攻 インテリアデザイン科 D1 ◆ インテリアデザイン科(3年制) インテリアデザイン科 インテリアデザイナー/インテリアコー プロダクトデザイン科 D2 プロダクトデザイン科 ディネーターコース ◆ プロダクトデザイン科(3年制) プロダクトデザイナー/カーデザイナー /家具デザイナー/雑貨デザイナー専攻 レコーディングクリエイター科 MD 音響芸術科 音響メディア科 音響芸術科 レコーディングクリエイター科 CE コンサート・イベント科 ミュージックカレッジ СМ 総合ミュージック科へ コンピュータミュージック科 ヴォーカリスト、ミュージシャン、コンサート ミュージックアーティスト科 MU スタッフ、レコーディングエンジニア、ダン 総合ミュージック科 ミュージックアーティスト科 ミュージック エンタテインメント科 サーなど、音楽の世界でプロになりたい人に。 ダンスパフォーマンス科 DP ◆ ミュージックアーティスト科 プレイヤー/ヴォーカリスト/作曲·編曲 XK 医用電子工学科 医用工学科 臨床工学科 大学へ ◆ コンサート・イベント科 医 XN コンサート制作/コンサートPA/コン 臨床工学専攻科(二部) 廃科 サート照明/コンサート舞台監督/イベ ント企画コース 理学療法学科 大学へ 医療力レッジ カ ◆ レコーディングクリエイター科 P2 臨床工学技士、医療秘書、診療情報管理士など レコーディングエンジニア/MAエンジ 理学医療法学科(二部) 廃科 医療分野のスペシャリストをめざしている人に。 ニア/ラジオミキサー/Pro Toolsエ OT 作業療法学科 大学へ キスパート専攻 ◆ 臨床工学専攻科一年制 臨床工学科専攻科一年制 X1 ◆ ダンスパフォーマンス科 臨床工学専攻科一年制 ◆ 医療秘書·事務科 プロダンサー/ダンスインストラクター 医療秘書·事務科 MI 医療秘書/医療事務コース /ミュージカルダンサー/コリオグラ 医療情報科 医療秘書 事務科 ◆ 診療情報管理士科(3年制) ファー専攻 診療情報管理士科 М3 診療情報管理士科

昭和22年 昭和28年 昭和32年 昭和36年 昭和40年 昭和44年 昭和48年 昭和52年 昭和56年 昭和60年 昭和62年 平成元年 平成3年 平成5年 平成7年 平成9年 平成11年 平成13年 平成15年 平成17年 平成17年 平成19年 平成24年

日本工学院ニュース/学科の変遷

温思って思す 校友•交遊

校友会「兵庫県支部会員の懇親会」報告

日時: 平成23年9月10日(土) 18:30~21:30 場所: 神戸市「ラピュタ ザ フランダース ティル」



参加者は7名で、ビル最上階のテラスにおいて新庄支部長の乾杯 の音頭で始まった。

ベルギー樽生ビールとベルギー料理に囲まれ、気心が知れ合った 会員同士の豊富な話題で会は進んだ。出席者の近況報告に始まり、 社会保険労務士と電気主任技術者の国家試験受験、東日本大震災 被災地への学校と校友会の復興支援策、長く続いた節電、将来の年 金制度など幅広い話題で会は盛り上がった。

次回は、12月中旬頃の再会と決め、お開きとした。







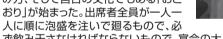
校友会「宮古島地区支部会員の懇親会」報告

日時: 平成23年11月12日(土)19:30~22:00 場所:宮古島市「ホテルアトールエメラルド宮古島」



参加者は12名で、与那覇 敏一さん の乾杯の音頭で始まり、島国らしい気 心が知れた会員同志の懇談などで会が 進んだ。驚いたことに、宮古島にも蒲田 校のコマーシャルが流れたとのこと。

会が最高潮に入り、宮古のお酒の呑 み方、そして宮古の文化でもある「おと



ず飲み干さなければならないもので、宴会の大小に関わらず行われ るものである。

最後に、徳田 永伸さんと与那覇 勝幸さんの閉会挨拶に続き、集合 写真を撮りお開きとした。

校友会「八重山地区支部会員の懇親会」報告

日時: 平成23年11月13日(土)19:00~21:30 場所: 石垣市「喰彩 ムスターシュ みっちゅう」



参加者は6名で、喜舎場さんの乾杯の音頭で始まった。徳田さん の息子さんの結婚式の話から始まり、クワガタ採集、パイナップル栽 培、猪とイリオモテヤマネコ、息子の航空管制官受験、6年間に4回

の引越し経験、中間管理職 の辛さ、若者の無愛想な挨 拶、フセイン時代のイラク へ派遣された経験などと話 題には事欠くことなく会は 盛り上がった。

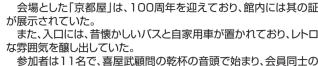
最後に、青木 実さんの 閉会挨拶に続き、集合写真 を撮りお開きとした。



校友会 [福岡・佐賀支部/長崎県支部 合同懇親会]報告

場所:佐賀市「武雄温泉観光ホテル 京都屋」

日時: 平成23年11月23日(水)18:00~21:00



雑談などで会は進んだ。 自己紹介では、席次順に卒業の科名と期、現在までの経歴および 近況報告、また趣味などを紹介した。特別参加の喜屋武顧問と清田 副会長からは、これからの校友会と学校との関わり合いや、今後の両 者の将来展望などの話題が出された。さらに、仲居さんによる手相 鑑定には、全員が一喜一憂した。

最後に、吉村 信次さんの閉会挨拶に続き集合写真を撮り、お開き





会場の「大庄水産 高崎駅前店」は庄やグループの海鮮料理専門 店で、店内入口には新鮮な魚貝類を入れた専用水槽が目立ち、いか にも海鮮料理の王道と言う雰囲気でたくさんの客で賑わっていた。

場所:高崎市「大庄水産 高崎駅前店」

日時: 平成23年12月3日(土)17:30~20:30

懇親会は、初参加の2名を含み参加者10名で名簿順の着座とな り、最初に山口支部長のご挨拶があり、入澤副支部長の乾杯の音頭 で始まった。

新鮮な海鮮料理に舌鼓を打ちながら和やかな雰囲気で酒宴は進 んだ。参加者全員の自己紹介では各自卒業してから今日に至るまで の仕事遍歴や現在の仕事、今後の取組み、目標、夢について篤く語っ ていた。また母校の話題についても、現在の新校舎や工学院通りの 様子と、在学当時の思い出深い工学院通りの様子などの話題に花が 咲いた。次回の総会は、学校見学も兼ねて蒲田キャンパスで実施し たいとの意見も挙がった。 最後に集合写真を撮り山口支部長の挨 拶と上村幹事の一本締めで閉会した。

日時: 平成23年8月27日(土) 18:00~21:00 校友会 [岩手県支部会員の激励会(がんばろう岩手)]報告 場所: 盛岡市「りすとらんて・とっと」





参加者は13名であった。激励会では、はじめに被災地の方々に対する黙 祷を行った後、震災時の生々しい状況や現在に至るご苦労、学校の対応、校 友会の対応、今後の生活の見通しなど時間を忘れて話し会いました。

校友会会員の中には仮設住宅で暮らしておられる方もいらっしゃるとの ことでした。宮古から参加された方は、7月24日に片柳学園が宮古漁協に 寄贈した2艘の漁船のことを地元のメディアで知り、大変嬉しく感じ、「これ ほど母校が誇らしく思えたことはない。自分は日本工学院専門学校を卒業 して本当に良かった」と熱く語られていました。仕事仲間からも賞賛の言葉 をいただき、「校友会主催の激励会があるのなら、是非参加して、学校長は じめ学校職員の方々、寄付をしていただいた方々に是非お礼を伝えてほし い」といわれたそうです。

初めて参加された方々は、学校がこれほどまで熱心に卒業生に対しても 応援してくれるのは本当にありがたいと述べていました。最後に集合写真 を撮り、お開きとした。

校友会ホームページ上の「校友会全国支部ブログ」および「同窓会等のお知らせ」で、各支部の活動 報告、懇親会・親睦会報告、同窓会報告などの記事が掲載されておりますのでご覧ください。 校友会ホームページのアドレス http://www.kouyukai.net

校友・交遊 集まってます! 校友・交遊 集まってます!



学校法人片柳学園の設置する学校(日本工学院専門学校、日本工学院八王子 専門学校、日本工学院北海道専門学校、東京工科大学)卒業生子女、兄弟姉妹お よび孫又は在校生の兄弟姉妹が入学する際に入学金を免除する制度です。

該当する方は以下のいずれかの方法で用紙を取り寄せ、出願時に出願書類 と共に提出してください。

兄弟姉妹同時入学の場合は、一人分の適用となりますので入学後に教務課 へ申請し、手続を行ってください。

※「入学金免除申請書」の受付は、平成24年3月31日までとします。

「各種資料請求用紙」にて請求

入学募集要項の 「各種資料請求用紙」にて請求

教務課より

「入学金免除請求書」を送付

必要事項を記入·押印

出願書類と共に教務課へ郵送



WEB

(www.neec.ac.ip)

(www.neec.ac.jp/graduate/ob.html)

「入学金免除申請書 |をダウンロード

必要事項を記入·押印

出願書類と共に教務課へ郵送

日本工学院専門学校ホームページ

画面左側、「卒業生のみなさんへ」

入学金免除制度説明ホームページ PDFファイルにて



2013年2月15日金、16日金、17日国 日本工学院「卒業展2013」開催!

校友会は"若きつくりびと"達に積極的な支援をします。





日本工学院専門学校と日本工学院八王子専門学校の合同卒業展 テクノロジーカレッジ、クリエイターズカレッジ、デザインカレッジ、 ITカレッジ、ミュージックカレッジ、スポーツカレッジ、医療カレッジ の7カレッジが一同に介する大規模な展示会です。



頑張れ! 日本工学院生!

卒業生の皆様、在校生の 作品を見に来てください!

「若きつくりびと 日本工学院卒業展2012」を開催しました。



日本工学院全カレッジの卒業期生による合同卒業展「若きつくりびと 日 本工学院卒業展2012」を開催しました。メイン会場のパシフィコ横浜を 中心に、卒業制作展や卒業ライブ、教育成果発表、各種イベントを実施。 3日間で約19,000人もの方々にご来場いただき、大盛況のうちに幕を 閉じることができました。



「若きつくりびと 日本工学院卒業展2012 ~様々な形のモノづくりから未来への絆~」 開催日:2012年2月3日(金)·4日(土)·5日(日)

: パシフィコ横浜/マリノスタウン/横浜BLITZ/赤坂BLITZ/横浜BAYSIS

催:日本工学院専門学校・日本工学院八王子専門学校

● 特別協力:日産自動車/富士通

● 公 演:フジテレビジョン/tvk/FMヨコハマ/文化放送

入学金免除制度

かまた題字作家紹介



本校校友会誌の表紙題字は人間国宝の芹澤銈介 (セリザワ ケイスケ)先生の筆によるものです。先 生は本校1号館、6号館東側に流れる呑川の上流 約150mに架かる馬引橋近くに、昭和9年から居 を構えられ、爾来50年にわたって蒲田の地で型絵 染の創作活動に没頭されておられました。昭和42 年(1967年)10月発行の日本電子工学院研友会 (校友会の前身の名称)会誌第2号以来表紙を飾っ ています。

芹澤 銈介 先生 略歴

明治28年(1895) 静岡市に生まれる。

大正 5 年(1916) 東京高等工業学校図案科卒業。

大正14年(1926) 朝鮮の旅に出て京城及び慶州仏国を訪れ る。往路、船中にて「大調和 | 誌の口絵及び 柳宗悦氏の「工芸の道」に感動、生涯の一 転機となる。

昭和3年(1928)沖縄紅型に感銘を受ける。

昭和6年(1931)雑誌「工芸」が創刊され、その表紙を一年間 受持つ。その型染布表紙は装幀の仕事への 端緒となる。

昭和7年(1932) 国画会会員・川端康成「雪国」装幀。

昭和 9 年(1934) 東京蒲田町に移る。初めて仕事場に恵まれる。

昭和13年(1938) 柳宗悦氏他民芸同人と共に沖縄に渡り紅型 の技を受ける。

昭和20年(1945) 型染めカレンダー創始。

昭和24年(1949) 女子美術大学教授となる。

昭和31年(1956) 型絵染で重要無形文化財保持者(人間国 宝)の指定を受ける。

昭和38年(1963) 大原美術館工芸館第二期の棟方・芹澤両館

昭和41年(1966) スペインのバルセロナにあるカタルーニャ美 術館を訪れ、永年の念願を果す。その程復 **途上、エジプト、トルコおよび欧州各地を巡** 遊。紫綬褒章を受ける。

昭和51年(1976) 文化功労者となる。フランスの国立グラン・バ レ美術館において「芹澤介展」開催。

昭和58年(1983) フランス政府から芸術功労勲章を贈られる。

昭和59年(1984) 4月5日死去(享年89歳)。

個人情報保護に ついての取組み

日本工学院専門学校校友会(以下校友会)では、個 人情報保護法に基づき会員の個人情報の保護につい て、以下の取組みを実施しております。

- ●校友会が保有する個人情報の適正な取扱いをするために、 個人情報の保護に関する規程を定めました。
- ●会員の個人情報は、必要な情報のみを適正かつ公正な手 段によって収集させていただいております。得られた個人 情報は、校友会誌「かまた」の発送ならびに学校法人片柳学 園日本工学院専門学校および姉妹校(以下学校)からのお 知らせを発送する際に利用いたします。また、会員に対する 校友会窓口(koyukai@neec.ac.jp)を明示し、会員からの 連絡が速やかに受けられるように致します。
- ●校友会では、会員よりいただいた個人情報を適切に管理

- し、会員本人の同意がない限り、校友会以外の第三者に対 する個人情報の提供は致しません。
- ●個人情報の取扱いを含む業務を委託する場合は、受託者と の間で契約により個人情報の再提供・漏洩などをしないよ う義務づけを致します。
- ●会員が自己の個人情報に関して、開示・修正・変更等を希望 される場合には、校友会窓口(koyukai@neec.ac.jp)まで ご連絡いただければ、迅速に対応致します。
- ●校友会では、上記の項目について、見直し・改善の必要が発 生した場合には、適宜対応していきます。

会員诉讼メッセージ

お元気ですか?



全国から、海外からこの1年間に、校友会事務 局に届いた会員の皆さんの近況報告。

思わぬ名前を見つけて、懐かしい顔や声が思 い浮かんだり、その元気そうな様子にほっと胸を なでおろしたり...。

このコーナーが、そのような温かい出合いや 思いを多くの皆さんにお届けできたら幸いです。 なお、誌面の都合で掲載できなかったお便りもあ りましたことをおわびいたします。

氏名(旧姓) 学科/期 勤務先 住所(都道府県)の 順で表示しています。

安部 恵子(旧姓:髙橋)

ソフトウェア科 第13期生

東京都

卒業して30年以上経ちました。結婚もして、もう孫まで出来ました。

工藤 宣道

CAD設計製図科 第22期生

Runault Nissan Technology & Business Centre India Private Limited

2011年7月より念願かなって海外駐在となりました。ルノー日産の インド開発拠点です。発展途上国での生活に不安や戸惑いもあ りましたが、インドの経済成長は目覚ましく、現地エンジニアの勢い を感じており、仕事にやりがいを感じ始めています。

2年間という短い期間ですが、日本のものづくりのノウハウをできる だけ伝授して、現在は日本の支援を得て開発をしている状況を 単独で開発ができる体制を整えたいと思っています。職場も住ま いもインド東南、チェンナイです。(旧称:マドラス)

小野田 はるな

OAシステム科 第2期生

埼玉県

せっかく学んだプログラミングでしたが2年程で出産を期に退職し ました。今では5人の子宝に恵まれ、忙しい毎日を過ごしています。

高橋 光恵(長澤 光恵)

情報処理科 第38期牛

神奈川県

学校からの紹介で入った(株)ジェー・ピー・アイは、最初cobolプロ グラミング、その後WindowsOS評価、サーバ構築がらみのプレを 経験し、育児休業が切れた2010年4月20日付けで退職。現在2 歳7ヶ月の息子がいます。IT系で働きたいけれど、大手企業に就 職&出産できないと、続けられないと実感。どこも余裕がないのが 現状です。今までの経験を生かしつつ、家族を大切にできる働き 方が出来ないか、現在模索中です。

多和田 学

放送制作芸術科 第22期生

神奈川県

卒業してデジタル放送局のマスター運用、衛星通信の基地局運 用を12年おこなってきましたが、テレビ業界は人余りで正直厳しい です。異種業への転職も検討しています。

小林 美香

放送制作芸術科 第18期生

株式会社ビューキャスト

神奈川県

スポーツ番組やニュース、中継などのスタッフを派遣している会社 です。(そのほか情報番組等もあります)基本は事務をしています が、採用担当の補助や番組のお手伝いもしています。

安嶋 雅彦

放送制作芸術科 第6期生

山梨県

現在、地元山梨でジャズライブハウスを経営しております。 ジャズ演奏の仕事も都内などで行っています。

皆様、お寄りください!



藤沢 勝

電子工学科 第43期生

技工電子㈱

神奈川県

2010年10月転勤で同社へ入社。日本工学院の卒業生を多く受 け入れている会社です。

室井 勉

環境工学科 第11期生

豊田市から名古屋へ、そしてまた豊田市へ戻りました。引越しの

段ボールが片付かないまま、また引越しです。

会員近況メッセージ お元気ですか?

新島 次郎 音響芸術科 第16期生 倒新島製作所 東京都

工学院卒業後からお世話になったMAスタジオに8年勤務し、現在は家業の紙器等打ち抜き用の抜型(ビク型/トムソン型)を製作しています。

四日市 秀 建築設計科 第11期生 ㈱北海道ジェイ・アール・ビルト 北海道

転職を機に、故郷の北海道へ帰ってきました。引き続き、前職で の経験と学校で学んだことを生かして頑張っていく所存です。

菊池 博映像科 第20期生エヌ・ポートビデオ岩手県

震災にも負けず、毎日頑張っています。これから事務所建設です。 日々一歩一歩進んでいきましょう。

先田 強 美術科 第16期生 愛知県

愛知県で勤めることとなり蒲田に行くこともなくなってしまいましたが、貴誌を通して母校と蒲田の発展振りに驚いています。卒業して20年近くが経ちますが、何も功績のない一年生のために毎号届けて下さって本当に有難う御座います。編集の皆様、これからも体に気をつけて頑張ってください。

渡辺 利枝(旧姓:吉原) デザイン科 第15期生

東京都

同級生と結婚して羽田に住んでいます。

森田 鉄弥電子工学科 第42期生パイオニア株式会社東京都

技術者を志して日本工学院の門を叩き、おかげさまで会社にも技術者として入社したのが30年前。その後紆余曲折があり、今は経営企画などといういかめしい名前の部門で、悪戦苦闘しています。30年前には想像もできませんでしたね。OB各位の健闘をお祈りするとともに、在校生の社会での活躍を期待しています。

齊藤 浩輝音響芸術科 第7期生葛飾エフエム放送株式会社東京都

念願のラジオ局に就職して早15年。あっという間に月日が流れて しまいご無沙汰してしまいました。この度再婚を機に絆を結び直し たいと思います。

角崎 豊サービス技術部 第6期生鹿屋商工会議所会館ビル鹿児島県

お疲れ様です。私は昭和40年3月蒲田近くの会社に勤務し、定かではありませんが昭和43年~45年6期サービス技術部を卒業し、電気工事士免除を授かり(有難うございました)その後、横浜市の電気会社を10数年勤務し、昭和 61年に故郷鹿児島県鹿屋市で電気工事会社を得て、現在鹿屋商工会議所会館ビルで電気、電話、他の経験で施設管理(11年目)になりました。、私の幸運は蒲田に本校が存在し、電気工事士と本校卒業が幸いとなり、家族にも恵まれ感謝しています。

矢口 一美 電気工学科 第29期生 日本工営㈱ 神奈川県

昨年(平成22年10月)転職しました。40才を超えての転職は厳しいものがありますが、気分一新に頑張りたいです。

渡辺 政道 情報技術科 第11期生

学習塾を7校経営する会社の社長をやっています。従業員も50 人くらいで忙しいです。日本工学院のスパルタな教育で得た根性 は私の宝物です。



松川 秀美 電子工学科三年制 第32期生 東急車軸製造㈱ 東京都

学校を卒業してずっと現在の会社に勤務しています。皆さん元気 にお過ごしでしょうかね。

麻生 徹放送制作芸術科 第 1 3 期生街タカハマライフアート東京都

今は丸井グループのエイムクリエイツというグループ会社で商業施設のPM事業の運営・管理業務を行っております。皆さんお元気ですか?

野本 正義 情報処理科 第28期生 ルネサスマイクロシステム(株) 神奈川県

蒲田校を卒業後、半導体(部品)メーカーに勤務しています。横 浜駅東口の勤務となり頑張っています。CD28期の皆様お元気 ですか?

杉本 浩 電子工学科 第41期生

電機業界から離れてしまいましたが、デザイン業界で頑張っております。ハワイへ行った仲間とまた会いたいですね。

長澤 光男放送制作芸術科 第1期生株)イースタンテクトリー福島県

いつも校友会誌をありがとうございます。4年前から法人化し3人 でがんばっております。お客様から声がかかるのが本当にありがた いです。

番口 榮吉 電気工学科 第15期生 石川県

年金生活を楽しんでいます。今年か遅くとも来年には一度卒業 校を拝みたいと考えています。蒲田駅から母校まで通学した道を 歩いてみたい。

渡部 順 情報処理科 第26期生 茨城県

卒業して30年になってしまいます。

みんな元気かなあ!!思い出いっぱいの蒲田も足を運びたいです。

藤本 伸一放送制作芸術科 第14期生株 ニューテレス千葉県

卒業して20年あまり過ぎました。校舎も新しくなり、おめでとうございます。先生達は元気なのかな〜!同級生のみんなも元気ですか?

有馬 瞳(旧姓:福地) 情報処理科 第45期生 鹿児島県

学校を卒業して目黒の会社で7年働きましたが、赤ちゃんができて 昨年の夏地元与論に戻り、のんびり子育てしています。息子は 8ヶ月になりすくすく成長しています。

鈴木 茂 電子工学科 第28期生 新潟県

昨年秋に妻の実家を取り壊し新築し、住所が変わりました。公務 員生活も残すところ1年になりました。卓球は現在も続けています 小中学生の指導もやっています。

柳 秀和 電気工学科 第26期生 IHIプラント建設㈱ 東京都

卒業して23年目になりました。プラントメーカーで頑張っています。

家元 恭宏 情報処理科 第28期生 日本海情報ビジネス専門学校 鳥取県

東京からUターンして地元(鳥取県米子市)にある専門学校で講師をしております。

羅 栄宝 パソコンネットワーク科 第10期生アルカディアシステム㈱ 東京都

今年結婚して子供が生まれました。

エイトキン 礼子(旧姓:三橋) OAシステム科 第4期生 イギリス

イギリスへ語学留学して結婚。現在はイギリスに在住。



渡辺 一雄 放送制作芸術科 第5期生東京都

蒲田キャンパスの再整備完了に伴い、整備の充実と最高の教育 環境が整いました。日本工学院らしい価値ある伝統から私は生涯、 誇れる宝であります。

管沼 和明 情報処理科 第23期生 コムシスシェアードサービス株式会社 広島県

平成22年3月から広島に転勤しました。他へ移動になる前に、中国・四国・九州の観光をしたいです。

金山 大示 サービス技術科 第23期生富山県

卒業して三十余年、顧問の重廣忠雄先生にはお世話になりました。御健在で何よりうれしいです。

梅原 弘子(旧姓:小笠原) メカトロニクス科 第9期生 埼玉県

子供の小学校のPTA役員をしたところ、PCを使う事になり7年ぶりのPCでしたが本を図書館で借りて、皆にたよられるまでになりました。

会員近況メッセージ お元気ですか?

会員近況メッセージ お元気ですか?

石田 辰雄

放送技術部 第1期生

新潟県

第一期放送技術部です。母校の歩み「羽田国際空港から日本 橋三越へテレビ中継 | (校友会誌かまた47号 P23) | に写真とコ メントがあり、たずさわった一人です。なつかしく読みました。

清 智史

声優・俳優科 第9期生

東京都

東京都中野にある東京演劇集団風で現在、東日本を中心に巡 回公演をしています。

菅野 良子

情報処理科 第22期生

東京都

卒業して30数年経ちましたが、毎年決まって送られてくる「かま た | を楽しみにしています。夜間部でしたので在学中にかまた祭 や部活に参加することができませんでしたが「かまた」を通して現 在の様子を知ることができ、うれしく思いつつ若かりしあの頃を思 い出しています。

湯頭 正道

情報処理学科 第6期生 神奈川県

横浜で何とか暮しています。嫁さんも3回目の歳男でやっともらい

林 俊之

音響芸術科 第1期生

埼玉県

被災地から避難してきた母親と暮らしています。親孝行ができる いい機会だと思っています。卒業した皆さん、元気でしょうか?

佐藤 俊文

医用雷子丁学科 第2期牛

公立志津側病院

宮城県

東日本大震災にて自宅等流出しましたが仮設住宅にて元気にし ています。

会員近況メッセージでした!

心からご冥福をお祈り申し上げます。

校友会会員の次の方々の訃報が届きました。

森脇 龍一さん 平成 4年 音響芸術科 10期卒業 平成21年6月没 四野見 克喜さん 昭和59年 環境工学科 11期卒業 平成23年3月11日没 11期卒業 平成23年7月2日没 竹中 俊夫さん 昭和31年 研究科 佐野 正幸さん 昭和50年 研究科 12期卒業 上道 優子さん 平成16年 コヒュータューシック科 7期卒業 平成21年4月27日没 小川 孝博さん 昭和60年 サービス技術科 31期卒業 平成19年11月18日没 塚田 博智さん 昭和51年 サービス技術科 19期卒業 平成23年1月26日没 大澤 衆一さん 昭和47年 ソフトウェア科 9期卒業 平成23年1月没 三澤 正二さん 昭和49年 テレビ放送技術科 23期卒業 平成23年3月11日没 吉本 功一さん 昭和57年 電気工学科 19期卒業 平成21年没 今井 秀道さん 昭和52年 電気工事科 4期卒業 平成21年8月没 小川 雅一さん 昭和55年 電気工事科 7期卒業 平成19年2月4日没 大庭 正彦さん 昭和52年 電気工事科 4期卒業 平成22年没 関 栄二さん 昭和56年 電気工事科 8期卒業 平成23年3月没 塩原 弘さん 昭和48年 電子工学科 29期卒業 平成22年10月没 香元 悟さん 昭和47年 電子工学科 26期卒業 平成13年没 小山田 好道さん 昭和57年 美術科 6期卒業 平成24年4月24日没 中根 康雄さん 昭和37年 放送技術部 7期卒業 平成22年12月29日没 宮代 芙美江さん 平成16年 マルチメディア科 8期卒業 平成23年1月13日没 石井 裕二さん 昭和61年 メかロニクス科 2期卒業 平成22年10月24日没

佐藤 治哉さん 昭和63年 情報通信科 13期卒業 平成23年3月25日没 両角 修治さん 平成10年 情報処理科 41期卒業 平成21年11月没 五味 昌文さん 昭和62年 情報処理科 30期卒業 勤さん 昭和57年 情報処理科 25期卒業 小池 孝さん 平成14年 情報処理科 45期卒業 星野 潤子さん 昭和51年 情報処理科 16期卒業 平成16年没 貢さん 昭和58年 情報処理科 26期卒業 平成5年5月26日没 小向 純一さん 昭和60年 情報処理科 28期卒業 平成17年9月21日没 小濱 信二さん 昭和64年 情報処理科 32期卒業 平成23年3月没 塚原 和文さん 昭和58年 情級理科-年制 27期卒業 平成17年5月没 石井 容子さん 昭和55年 情報原科-年制 24期卒業 高桒 弘明さん 平成 4年 電気工学科 29期卒業 平成22年10月19日没 松本 由男さん 昭和55年 電気工学科 17期卒業 平成22年11月18日没 武田 吉弘さん 昭和52年 電気工学科 12期卒業 平成22年4月没 鈴木美智雄さん 昭和54年 電気工学科 16期卒業 平成20年4月8日没 森木 宏之さん 昭和58年 雷気工学科 44期卒業 平成19年1月28日没 博さん 昭和57年 放送制作芸術科 6期卒業 和幸さん 昭和53年 放送制作芸術科 2期卒業 平成23年8月13日没 石渡 玲以子さん 平成 4年 放送制作芸術科 16期卒業 平成22年3月14日没

武田 典子さん 平成 7年 臨床工学科 11期卒業 平成20年1月14日没

東日本大震災 宮城県に漁船を 復興支援

平成23年実績

岩手県の3漁港へ



■ 重茂漁港



■空古渔港



日本丁学院専門学校校友会では、2011年3月11日の東日本大震災直後の6月に蒲田校で開かれた第 22回校友会全国通常総会において東日本大震災復興支援策の一つとして被災された卒業生ならびに在校 生への支援として見舞金をお贈りする決定をいたしました。平成23年度は、卒業生のうち死亡が確認され た方2名のご親族に弔慰金、被害に遭われた方15名、在校生37名の保護者の方々宛に見舞金を送金いた しました。見舞金を受け取られた卒業牛、保護者の方々から「卒業してから何十年も経っているのに、思いも かけずいただいたお見舞金は、絶望に打ちひしがれる中、本当にありがたく、涙が止まりませんでした。これ から一歩ずつ前向きに生きていこうと思います。一生大切に使わせていただきます。桂田会長始め校友会 の皆様に何卒よろしくお伝えください
|「卒業牛組織がしっかりしていて子供を日本工学院専門学校に入学 させて本当によかった」など多くの御礼のお言葉をいただきました。

また、被災地支援のための激励会が岩手県盛岡市、宮古市、宮城県仙台市で行われました。平成24年度 は福島県、宮城県でも行われる予定です。

片柳学園では被災地支援として「被災地に漁船を贈ろう! 募金 |活動を行い、卒業生、在校生、関係の方々 から多額の寄付金を寄せていただき、平成23年度7月に岩手県宮古市宮古漁港、重茂漁港、田老漁港に7 艘の漁船を寄贈いたしました。贈呈式には校友会岩手県支部の阿部支部長様にもご参加いただきました。 昨年の学園祭では学園が復興支援の一環として被災漁港からの海産物を販売し、売上金を寄付いたしま した。校友会としてもこれに積極的に協力いたしました。

平成24年5月8日には宮城県雄勝半島の大須漁港・船越漁港に4艘の漁船を寄贈いたしました。校友会 ではこのうち一艘を寄贈し、船体には「第十あすなろ丸、寄贈 日本工学院専門学校校友会」の文字が刻まれ ています。この贈呈式の際の様子は複数のテレビ局から取材を受け放送されました。さらに6月27日、フジ テレビの「スーパーニュース」でも放映されました。校友会では片柳学園の復興支援に協力する形で今後も 引き続き、被災地支援を続けていく予定です。会員の皆様方のご協力とご理解をいただければ幸いです。

漁協組合より 感謝状が校友会に 贈呈されました!





東日本大震災復興支援報告

会員近況メッセージ お元気ですか?